

8 香川の消防史

香川の消防史

年	県				全 国			
	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等
元和7年 -1621				火消袋を初めて江戸に置く。				
慶安元年 -1648			12	將軍家光、火災予防に関する町触(法令)を出す。				
慶安3年 -1650			6	幕府、世界初の公設消防隊(火消役)を2組置く。				
万治元年 -1658				定火消を4隊設ける (1隊:与力6人、同心30人、火消人足300人)				
天和2年 -1682				將軍綱吉、警火令を出す。				
元禄8年 -1695	この頃、丸亀藩主、町内10箇所の用水井戸を掘らせ、水桶を各井戸毎に30個配置させる。また、町方家持に水桶1個、長屋5軒毎に水桶1個配置させる。			定火消15組となり、総勢1,920人となる。				
宝永4年 -1707		10.28	宝永地震	○死者 28 ○倒壊家屋 929 ○丸亀城破損、五剣山一峰崩落	10.28	宝永地震(M 8.4) (東海道・近畿・中国・四国・九州) ○死者 4,900 ○倒壊家屋 29,000		
宝永年間 (1710頃)	丸亀藩主、火消人足の制度を設ける。							
正徳元年 -1711		12.2		讃岐中部に大地震発生(M6.7) ○死者 1,000以上 ○倒壊家屋 1,713				
正徳2年 -1712				幕府、大名に命じて江戸城の周囲11方面の防備をさせる。 (大名火消)				

年	県			下			全			国
	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月 日	
享保3年 -1718							將軍吉宗、大岡忠相をして店火消を組織させる。長崎人からくり儀右エ門「竜吐水」(人力消防ポンプ)を發明			
享保4年							いろは48組及び本所深川に16組の町火消の制度をつくり、それぞれにまといを町奉行から渡す。(民間自衛消防のはしり)			
-1719										
享保5年 -1720							將軍吉宗、瓦葺屋根を奨励			
享保7年							火災現場監督として、幕府直轄の御使番、火事場見付、火事場見廻り等を置く。			
-1722										
享保13年							この頃から丸亀藩では、年末年始の夜回り始める。			
-1728										
延享4年 -1728							高松藩刑法改定 ○火付け、はりつけ、打首等			
明和元年							平賀源内、火浣布を發明し幕府に献上			
-1764										
明和3年							丸亀藩、火消侍と火消組(町火消)を設ける。			
-1766										

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	
文化元年		坂出、町内の大火により時の大庄屋阿河佐平次、雲竜水を購入、火消を組織化する。	坂出、町内の大火により、家屋60戸余焼失	11.29						
-1803										
安政元年 -1854			安政南海地震 ○死者 5 ○負傷者 19 ○倒壊家屋 2,961	12.24					安政南海地震(M8.4) (近畿、中国、四国) ○死者 3,000 ○家屋全壊 10,000 ○家屋半壊 40,000 ○家屋焼失 6,000 ○家屋流出 15,000	
安政3年		坂出に高松藩塩買所の仲仕衆による火消組誕生、塩田釜屋、塩倉等の火事の消火にあたる。								
-1858										
明治元年 -1868									定火消、大名火消を陸軍に編入	
明治3年									東京、消防を消防局とし、英国より蒸気ポンプ41台、馬輓腕用ポンプ4台、小型ポンプ1台購入	
-1870										
明治4年			高松消防組ができる。							
-1871										

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	
明治7年 -1874		坂出に2組の火消が生まれ、腕用ポンプを購入、義勇消防ができる。						警視庁の創設に伴い、消防はこれに属する。		
明治8年 -1875		県下にも警察出張所がおかれ、火消組、消防組はその指揮下に入る。								
明治13年 -1880								警視庁に消防本部を置く。		
明治20年 -1887		県庁職務係規を改め、警察本部保安課に水火防禦に関する事項を明記する。								
明治23年 -1890		坂出に公設消防組発足								
明治26年 -1893		丸亀に公設消防組発足								
明治27年 -1894		県令消防組規則施行規則公布 (県下の消防組の法的地位確立)						勅令で消防組規則公布		
明治30年 -1897		高松市手押ポンプ5台購入								
明治33年 -1900		丸亀市手押ポンプ1台購入 (明治35年までに計4台購入)								
明治34年 -1901		県令により消防組設置を2市10町18村とする。								

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等		
明治37年 -1904		普通寺町消防組設置								
明治44年					5.1 日本初の消防車(大阪府 消防課が英国から日本初 の消防車を購入:放水量 300ガロン/分)					
-1911										
大正2年 -1913					消防操典を定める。 (訓練礼式の統一化)					
大正6年		沿川市町村消防組に水防 施設を設けさせる。(訓 平井、由佐、丸亀、垂 水、与北に公設水防組を 設ける。								
-1917										
大正8年										
-1919										
大正10年		高松に初めて手鞆ガソリン ポンプを備える。								
-1921										
大正11年		香川県消防義会発足								
-1922										
大正12年		普通寺連兵場において、 香川県消防組連合演習を 行う。 ○参加: 36組 1,061人 (財)香川県消防義会設立						9. 1 関東大地震(M7.9)		○死者 142,807 ○家屋全壊 128,266 ○家屋全焼 447,128 ○流出家屋 868
-1923										
大正13年		高松に自動車ポンプ購入						1. 5 丹沢山麓地震(M7.3)		○死者 19 ○家屋全壊 1,298
-1924										

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	
大正14年 -1925		丸亀、手戦ガリソング2 台購入					5. 23		北但馬地震(M6.8) ○死者 428 ○家屋全壊 1,295 ○家屋全焼 2,180	
昭和2年 -1927	8. 14	(財)大日本消防協会香川 県支部設立(支部長 知 事)		7. 15	(財)大日本消防協会設立 (会長 内務大臣)		3. 7		北丹後地震(M7.3)(近畿・中国) ○死者 2,925 ○家屋全壊 12,584 ○家屋全焼 3,711	
昭和3年 -1928		高松市福岡町県有埋立地 で、県下消防組連合演習 を行う。 ○参加：116組 10,131人 ○主催：(財)大日本消 防協会香川県支部、(財) 香川県消防義会								
昭和5年 -1930							11. 26		北伊豆地震(M7.3) ○死者 272 ○家屋全壊2,165 ○家屋流出 75	
昭和6年 -1931							9. 21		西埼玉地震(M6.9) ○死者 16 ○家屋全壊 206	
昭和8年 -1933							3. 3		三陸地震津波(M8.1) ○死者 3,008 ○家屋全壊 2,346 ○家屋全焼 216 ○家屋流出 4,917	
昭和10年 -1935							7. 11		静岡市付近地震(M6.4) ○死者 9 ○家屋全壊 814	
昭和14年 -1939	4. 7	(財)香川県消防義会を (財)香川県警防義会と名 この頃、観音寺の伊吹に 婦人警防団ができる。		4. 1	消防組規則を廃し、警防 団令公布		5. 1		男鹿半島地震(M6.8) ○死者 27 ○家屋全壊 585	
昭和18年 -1943							9. 1		鳥取地震(M7.2) ○死者 1,083 ○家屋全壊 7,485 ○家屋全焼 251	

年	県			下			全			国
	月日	消防一般	月日	災害・事故等	月日	消防一般	月日	災害・事故等		
昭和19年 -1944								12. 7 東南海地震(M7.9) ○死者 998 ○家屋全壊 26,130 ○家屋流出 3,059		
昭和20年 -1945	10. 1 内海町苗羽婦人防火クラブ結成		7. 4 高松大空襲 [市内の80%を焼失] ○罹災者 87,000 ○罹災家屋 15,000 10. 8 阿久根台風 ○死者・行方不明 7 ○負傷者 1 ○家屋損壊 28 ○床上浸水 1,051 ○床下浸水 6,914					1. 13 三河地震(M6.8) ○死者 2,306 ○家屋全壊 12,142		
昭和21年 -1946			12. 21 南海地震(M8.0) ○死者 52 ○負傷者273 ○家屋全壊 608 ○家屋半壊 2,409					12. 21 南海地震(M 8.0) ○死者 1,330 ○行方不明 113 ○家屋全壊 11,591 ○家屋全焼 2,598 ○流出家屋 1,451		
昭和22年 -1947	4. 1 内海町坂手婦人防火クラブ結成				4. 3 警防団令廃止、消防団令 12. 23 消防組織法の制定 12. 31 内務省の廃止					
昭和23年 -1948	3. 8 (財)香川県消防義会を廃し、(財)香川県消防協会を設立 4. 1 内海町草壁婦人防火クラブ結成 12. 13 高松市消防本部設置				1. 2 (財)日本消防協会の設立 3. 7 消防組織法が施行され自治体消防制度が発足 ○各地に新生自治体消防誕生 ○国家消防庁発足 消防法の制定(施行は8月1日) 7. 24 消防団令廃止			6. 28 福井地震(M7.1) ○死者・行方不明 3,858 ○建物全壊 35,420 ○建物全焼 3,691 豪雨(西日本) ○死者 121 ○行方不明126 ○負傷者 317 ○家屋全壊 391 ○半壊872 アイオン台風(岩手中心) ○死者 512 ○行方不明 326		

年	県				全				国
	月日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等	
昭和24年 -1949	4. 1	内海町福田婦人防火クラブ結成	7. 28	ハタカ-台風	5. 14	全国都市消防長連絡協議会の発足	1. 26	○負傷者 1,956 奈良県斑鳩町法隆寺金堂火災	
	5	高松市消防本部に四国で初めての水槽付き消防ポンプ自動車を設置	~31	○死者 3 ○家屋損壊 3	6. 24	水防法の制定	2. 2	能代市大火 ○死者 3 ○負傷者 874	
	7. 11	内海町安田婦人防火クラブ結成		○家屋流出 5	7. 16	東京消防庁に全国初の音楽隊発足		○焼損棟数 2,238 ○焼損面積 210,411	
	9. 1	坂出市消防本部設置		○床上浸水 10 ○床下浸水 243 ○鴨部川氾濫(長尾、志度)			6. 18	デラ台風(鹿児島・愛媛中心) ○死者 252 ○行方不明 216 ○負傷者 367 ○家屋全壊 1,410 ○家屋半壊	
							8. 13	ジュゼイス台風(九州、四国) ○死者 154 ○行方不明 25 ○負傷者 213 ○家屋全壊 569	
							8. 31	○家屋半壊 1,966 キライ台風(関東中心) ○死者 135 ○行方不明 25 ○負傷者 479 ○家屋全壊 3,733 ○家屋半壊 13,470 今市地震(M6.2) ○死者 10 ○建物全壊 873	
昭和25年 -1950					1. 2	大阪で消防宝くじ発売	1. 1	風害(九州、北陸、関東) ○死者 11 ○行方不明 109 ○家屋全壊 43 ○家屋半壊 56	
					3. 7	第1回「消防記念日」	4. 13	熱海市大火 ○負傷者 3,277 ○焼損棟数 1,461 ○焼損面積 141,900	
					5. 24	建築基準法の制定	7. 2	京都市金閣寺火災 9. 3	
							~ 4	ジェーン台風(近畿中心) ○死者 398 ○行方不明 141 ○負傷者 26,062 ○家屋全壊 19,131 ○家屋半壊 101,792	

年	県				下				全				国
	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	
昭和26年 -1951	1. 1	土庄町7地区婦人防火クラブ結成 (土庄・洲崎・大銀・北浦・大部・四海・豊島)	大雨 ○死者 2 ○家屋損壊 14	3. 13	消防組織法の改正 ○消防団員の公務災害補償の規定新設 ○非常勤消防団長、団員の公職立候補制限解除	4. 24	横浜市長浜東北線桜木町電車火災 ○死者 107 ○負傷者 81						
	10. 1	観音寺市一ノ谷少年消防クラブ結成	○家屋流出 5 ○船沈没 1 ○床上浸水 21 ○床下浸水 487	7. 7		7. 7	豪雨(京都等) ○死者 162 ○行方不明 144						
	10. 1	山本町神田少年消防クラブ結成	○床上浸水 21 ○床下浸水 487	7. 7		7. 7	豪雨(京都等) ○死者 162 ○行方不明 144						
	12. 8	内海町安田少年消防クラブ結成	○床上浸水 21 ○床下浸水 487	9. 4	坂出市内繁華街火災	~17	○負傷者 358						
			○全焼家屋4 ○半焼家屋 5 ○焼損面積 468 台風15号(ハース台風・西讃・小豆島)	10. 14		10. 13	ルース台風(山口中心) ○家屋全壊 630 ○家屋半壊 727						
昭和27年 -1952	4. 29	高松市少年消防クラブ結成 ○16校、419名	7. 1	大雨(県下一円) ○死者 4 ○負傷者 4 ○家屋全壊 6 ○家屋半壊 8	5. 9	第1回全国消防大会の開 消防組織法の改正	3. 4	十勝沖地震(M8.2) ○死者 33 ○建物全壊 815 ○建物流出 91					
	6. 1	丸亀市消防本部設置	~3	○家屋全壊 6 ○家屋半壊 8	7. 31	○国家消防庁を国家消防本部に改組 ○都道府県の消防に関する所掌事務の明確化	4. 17	鳥取市大火 ○死者 3 ○負傷者 3,963 ○焼損棟数 7,240 ○焼損面積 449,295					
			○床上浸水 451 ○床下浸水 3,264	8. 1	消防法の改正 ○消防協力者に対する損害補償制度の創設	8. 1		6. 22	ダイナ台風(静岡中心) ○死者 65 ○行方不明 70 ○負傷者 28 ○家屋全壊 73 ○家屋半壊 89				
							7. 1	豪雨(中国、四国、近畿、東海) ○死者 67 ○行方不明 73 ○負傷者 101 ○家屋全壊 356 ○家屋半壊 238					
							~12						

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等		
昭和28年 -1953	5. 5	内海町坂手少年消防クラブ結成			7. 27	台風の名称を人名から番号制に変更	6. 23	梅雨前線による豪雨(北九州中心)		
	12. 14	丸亀市婦人消防クラブを80名で結成			11. 26 ～12. 2	消防施設強化促進法の制定 第1回全国統一秋の火災予防運動	～30	○死者 748 ○行方不明 265 ○負傷者 2, 720 ○家屋全壊 5, 699 ○家屋半壊 11, 671 梅雨前線による豪雨(和歌山中心) ○死者 713 ○行方不明 411 ○負傷者 5, 819 ○家屋全壊 7, 704 ○家屋半壊 2, 125 8. 11 豪雨(京都中心) ○死者 290 ○行方不明 140 ○負傷者 994 ○家屋全壊 893 ○家屋半壊 765		
昭和29年 -1954	1. 27	香川県消防講習所開所			11月	「わが国の火災の実態と消防力の現状」国家消防本部より発刊	9. 22 ～26	台風13号(近畿中心) ○死者 393 ○行方不明 85 ○負傷者 2, 559 ○家屋全壊 8, 604 ○家屋半壊 17, 467		
			6. 28	大雨(観音寺・滝宮・琴平中心)	11月 1～ 12月	「わが国の火災の実態と消防力の現状」国家消防本部より発刊 火災原因トップが「煙突」から「こんろ」へ	5. 8 ～12	風害(北日本、近畿) ○死者 172 ○行方不明 498 ○負傷者 59 ○家屋全壊 606 ○家屋半壊 1, 471 台風12号(南九州中心) ○死者 107 ○行方不明 37 ○負傷者 311 ○家屋全壊 2, 162 ○家屋半壊 5, 749		

年	県			下			全			国
	月日	消防一般	月日	災害・事故等	月日	消防一般	月日	災害・事故等		
昭和29年 -1954			8.9	煙火工場爆発事故 (坂出・平尾火工品製作所) ○死者 2 ○負傷者 4 台風12号(県下一円) ○死者 1 ○負傷者 8 ○家屋全壊 30 ○家屋半壊 65 ○床上浸水 477 ○床下浸水 5,428 ○船沈没 1			9.24 ~27	洞爺丸台風(北海道・四国中心) ○死者 1,361 ○行方不明 400 ○負傷者 1,601 ○家屋全壊 8,396 ○家屋半壊 21,771 (うち洞爺丸遭難死者・行方不明1139) 北海道岩内町大火 ○死者 33 ○負傷者 551 ○焼損棟数 3,299 ○焼損面積 321,311		
			9.13 ~12	○家屋全壊 30 ○家屋半壊 65 ○床上浸水 477 ○床下浸水 5,428 ○船沈没 1			9.26			
昭和30年 -1955			9.24 ~27	台風15号(洞爺丸台風、県下一) ○死者 8 ○負傷者 57 ○家屋全壊 275 ○家屋半壊 430 ○床上浸水 626 ○床下浸水 5,096 ○家屋流出 15 ○船沈没 18 <災害救助法適用>			2.17	横浜市聖母の園養老院火災 ○死者 99 ○負傷者 9		
			3.24	煙火工場爆発事故 (坂出・平尾火工品製作所) ○死者 1 ○負傷者 2			2.19 ~20	風害(全国) ○死者 16 ○行方不明 104 ○負傷者 18 ○家屋全壊 42 ○家屋半壊 100		
			5.11	紫雲丸事件 ○死者 166 ○行方不明 2 ○負傷者 58<災害救助法適用>			5.3	大館市大火 ○死者 1 ○負傷者 20 ○焼損棟数 345 ○焼損面積 38,211		
							5.11	宇高連絡船紫雲丸濃霧により沈没 ○死者 166		
							10.1	新潟市大火 ○死者 1 ○負傷者 275		
							12.3	名瀬市大火 ○焼損棟数 892 ○焼損面積 214,447 ○焼損面積 1,361 ○焼損面積 65,997		

年	県 下			全 国		
	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等
昭和31年 -1956	4. 1	普通寺市消防本部設置		1. 1	新潟県赤彦神社初詣事故	○死者(圧死) 124 ○負傷者 94
	5. 5	第1回香川県消防操法大会開催		3. 2	能代市大火	○負傷者 19 ○焼損棟数 1,475 ○焼損面積 178,933
昭和32年 -1957	4. 1	観音寺市消防本部設置		4. 17	風水害(東北、関東、北海道)	○死者 47 ○行方不明 53
	5. 12	第2回香川県消防操法大会開催		~18	○家屋全壊 2 ○家屋半壊 10	
				8. 18	大館市大火	○負傷者 16 ○焼損棟数 1,344 ○焼損面積 156,984
				9. 1	魚津市大火	○死者 5 ○負傷者 170 ○焼損棟数 1,677 ○焼損面積 175,966
昭和33年 -1958	4. 1	観音寺市消防本部設置		10. 11	大津市比叡山延暦寺大講堂火災	
	5. 12	第2回香川県消防操法大会開催		7. 6	東京都台東区谷中五重塔火災	
昭和33年 -1958	9. 28	四国消防操法競技会を県立高松工業高校がフットで開催、4部門すべて県勢が優勝 ○自動車ボックシング：仁尾町消防団 ○手引動力ボックシング：豊中町消防団		7. 25	諫早水害	○死者 586 ○行方不明 136 ○負傷者 3,860 ○家屋全壊 1,564 ○家屋半壊 2,802
				3. 9	関門国道トンネル開通	

年	県			下			全			国
	月日	消防一般	月日	災害・事故等	月日	消防一般	月日	災害・事故等		
昭和33年 -1958	9.28	○三輪車ポンプ：三野村 消防団 ○可搬ポンプ：内海町消 防団					9.26 ～28	狩野川台風(静岡中心) ○死者 888 ○行方不明 381 ○負傷者 1,138 ○家屋全壊 2,118○家屋半壊 2,175 鹿児島県瀬戸内町大火 ○負傷者48○焼損棟数 1,628 ○焼損面積(建物)175,966(林野) 600ha		
昭和34年 -1959	8.7 ～9		8.7 ～9	台風6号(県下一円) ○死者 1 ○家屋全壊 1 ○家屋半壊 2 ○床上浸水 52 ○床下浸水 125	4.1	消防法の改正 ○危険物の全国統一規制 消防組織法の改正 ○国家消防本部の附属機 関として消防審議会、消 防大学校を設置 ○都道府県に消防学校設 置 危険物の規制に関する政 令の制定	8.12 ～14	台風7号(山梨、長野) ○死者 188 ○行方不明 47 ○負傷者 1,528 ○家屋全壊 4,089 ○家屋半壊 10,139 伊勢湾台風(愛知中心) ○死者 4,697 ○行方不明 401 ○負傷者 38,921 ○家屋全壊 40,888 ○家屋半壊 113,052		
昭和35年 -1960	1.2 4.1 4.1 9.1	高松市消防本部に18m 級はしご車を配置 琴平町消防本部設置 池田町3地区少年消防ク ラブ結成 (山彦、二生、三都) 多度津町消防本部設置	4.24 ～25 8.2	豊浜町林野火災 ○焼損面積 50ha 高松駅火災(駅及び駅周辺火災) ○負傷者 67 ○罹災世帯 51 ○全焼棟数 94 ○半焼棟数 9 ○焼損面積 16,211 <災害救助法適用>	5.26 7.1 7.2 8.25 9.1 1～12	イブカ「IFCAA」(アジア 消防長協会)設立発表会 自治省消防庁の発足 消防法の改正 ○防火責任者制度から防 火管理者制度へ ○消防用設備等設置基準 を条例から政令へ 消防審議会の答申 ○市町村の消防に必要な 人員及び施設等の基準に ついて答申 第1回「防災の日」 火災原因トップ「こんろ」 から「たばこ」へ	5.23	チリ地震津波(M8.5) ○死者 122 ○行方不明 17 ○負傷者 872 ○家屋全壊 6,943 ○家屋半壊 2,136		

年	県			下			全			国
	月日	消防一般	災害・事故等	月日	消防一般	災害・事故等	月日	消防一般	災害・事故等	
昭和36年 -1961	1. 1	大川町友近婦人防火クラブ結成	3.31 国分寺林野火災	3.25	消防法施行令の制定	2. 2	長岡地震(M5.2)	2. 2	長岡地震(M5.2)	
	10. 1	山本町3地区少年消防クラブ結成 (辻、河内、大野)	9.14 台風18号(第2室戸台風、県下一円) ○負傷者 36 ○家屋全壊 88 ○家屋半壊 123 ○床上浸水 1,503 ○床下浸水 10,503 ○家屋流出 3 ○船沈没 5 <災害救助法適用> 10.26 集中豪雨(大川、小豆中心) ○死者 2 ○行方不明 2 ○負傷者 29 ○家屋全壊 42 ○家屋半壊 104 ○床上浸水 1,351 ○床下浸水 4,633 <災害救助法適用>	5. 3	全国都市消防長連絡協議会を全国消防長会と改称 退職消防団員報償規程の	5. 29	岩手県新里村三陸大火 ○死者 5 ○負傷者97 ○焼損棟数 1,062 ○焼損面積 (建物) 53,047 (林野) 40,366ha			
昭和37年 -1962	1. 7	池田町婦人防火クラブ結成		3.31	消防表彰規程の制定	4. 3	宮城県北部地震(M6.5)	4. 3	宮城県北部地震(M6.5)	
	11. 1	香川県火薬保安協会設立		5. 4	消防審議会の啓申	5. 3	東京三河島電車事故	5. 3	東京三河島電車事故	

年	県			全 国		
	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	日 月	日 月
昭和37年 -1962					6. 29 7. 1 ～8 9. 26	十勝岳爆発 ○死者 5 ○負傷者 11 ○豪雨(九州中心) ○死者 110 ○行方不明 17 ○負傷者 114 ○家屋全壊 263 ○家屋半壊 285 福江市大火 ○負傷者 28 ○焼損棟数 486 ○焼損面積 64,698
昭和38年 -1963	2. 1 高松市消防本部救急業務開始 4. 1 土庄町消防本部設置 4. 1 香川県冷凍設備保安協会設立	1. 21 坂出市内繁華街大火災 ○負傷者 1 ○罹災世帯数 14 ○全焼棟数 12 ○焼損面積 1,710	4. 15 消防法の改正 ○消防用機械機具等の義務検定制度の創設 ○救急業務の法制化 4. 15 消防組織法の改正 ○政令で定める市町村について消防本部及び消防署の設置義務化 6. 14 防災基本計画の制定 7. 16 名神高速道路供用開始 8. 3 消防審議会答申 ○非常勤消防団員に対する処置の改善について中 日本消防検定協会の設立 10. 1 消防法施行令の改正 12. 19 ○救急業務を行わなければならない市町村の基準の決定(人口10万人以上の市)	1 豪雪(北陸、山陰、山形、滋賀、岐阜) ○死者 228 ○行方不明 3 ○負傷者 356 ○家屋全壊 753 ○家屋半壊 982 横浜市鶴見電車事故 ○死者 161 ○負傷者 120	1	
昭和39年 -1964	1. 1 満濃町高篠婦人防火クラブ結成 12. 19 高松市危険物保安協会設立	9. 24 台風20号(台風を中心通過) ～25 ○負傷者 8 ○家屋損壊 56	3. 3 救急業務実施基準の制定(財)日本防火協会の設立	川崎市昭和電工川崎工場爆発火災 ○死者 15 ○負傷者 122	6. 11	

年	県			下			全			国
	月日	消防一般	月日	災害・事故等	月日	消防一般	月日	災害・事故等		
			9.24 ～25	台風20号(台風を中心通過) ○床上浸水 2 ○床下浸水 58	3.3 4.29 10.1 ～24 12.8 12.1	消防組織法及び消防団員等公務災害補償責任共済基金法の改正 ○消防団員の退職報奨金制度の確立 第1回生存者叙勲の発令 第18回レヴィッ東京大会開催 消防団員の階級準則の制定 消防水利の基準制定	6.16	新潟地震(M7.5) ○死者 26 ○建物全壊 1,960 ○建物全焼 290 ○原油タンク15日間燃え続ける 東京都品川区勝島倉庫火災 ○消防職団員殉職 19 ○負傷者 158 豪雨(山陰、北陸) ○死者 114 ○行方不明 18 ○負傷者 221 ○家屋全壊 669		
昭和40年 -1965	7.15 11.12	香川県消防講習所を香川県消防学校と名称変更 高松市消防本部に化学消防自動車を配置	2.27 ～3.2 9.9 ～10	引田町林野火災 ○負傷者 7 ○焼損面積 179ha 台風23号(県下一円) ○死者 3 ○負傷者 18 ○家屋損壊 62 ○床上浸水 703 ○床下浸水 6,041 <災害救助法適用>	5.14 7.31 11	消防法の改正 ○消防設備士制度の創設 消防訓練礼式の基準の制定 「わが国の火災の実態と消防力の現状」を「消防白書」へ名称変更	1.11 9.1 ～18	東京都大島町大火 ○焼失棟数 585 ○焼失面積 37,453 台風23・24・25号 (徳島、兵庫、福井中心) ○死者 153 ○行方不明 28 ○負傷者 1,206 ○家屋全壊 1,879 ○家屋半壊 3,529		
昭和40年 -1965			9.17	台風24号(県下一円) ○死者 1 ○負傷者 5 ○家屋損壊 15 ○床上浸水93○床下浸水4,472 <災害救助法適用>			10.1 10.26	大津市滋賀県庁別館火災 ○死者 3 ○負傷者 10 西宮市タスクローリー火災 ○死者 5 ○負傷者 26 ○焼損棟数 40		

年	県				全 国			
	月日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等
昭和41年 -1966	10. 1	香川県エレクトロニクス保安協会 設立	3. 3	火薬による飛石事故 (宇多津・土木工事現場) ○死者 1	2. 17 3. 15 11. 1	市町村消防計画の基準の (社)全国消防機器協会の 東京消防庁に全国初の消 防航空隊創設	1. 9 1. 11	川崎市金井ビル火災 ○死者 12 三沢市大火 ○負傷者 26 ○焼損棟数 282 ○焼損面積 53,537 2. 4 全日空機東京湾に墜落 ○死者 133 3. 4 カナダ航空機が羽田空港で炎上 ○死者 64 3. 5 英国海外航空機富士山腹で遭難 ○死者 124 3. 11 群馬県水上町水上温泉菊富士ホテル火災 ○死者 30 ○負傷者 28 9. 23 台風24・26号(静岡山梨中心) ○死者 238 ○行方不明 79 ○負傷者 824 ○家屋全壊 2,422 ○家屋半壊 8,431 11. 13 全日空機松山空港沖に墜落 ○死者 50
	昭和42年 -1967	4. 1	坂出市危険物保安協会設 立	7. 7	日本ビニロン工業(株)坂出工場爆 発事故(ABN製造装置爆発火災) ○負傷者 8名	5. 12 5. 23 7. 25	消防法施行令の改正 ○救急業務実施基準を人 口5万人以上の市に 消防審議会の答申 ○石油コンビナート地帯の災害 対策について答申 消防法の改正 ○高速自動車国道、一般 国道における都道府県の 救急業務の新設 ○液化石油ガスの貯蔵、 取扱いの届出の義務化	7. 8 ～9 8. 26 ～29

年	県			下			全			国
	月日	消防一般	月日	災害・事故等	月日	消防一般	月日	災害・事故等		
昭和43年 -1968	1.1	満濃町長尾上婦人防火クラブ結成	7.28 ～30	台風4号 ○死者 1 ○床下浸水 589	11.8 12.6	消防審議会の答申 ○超高層建築物及び地下街の防災対策について答 消防審議会の答申 ○危険物に対する保安規 制の改善について 自治体消防制度20周年 記念式典の挙行 消防法施行令の改正 ○救急業務実施基準を人 口4万人以上の市に 震ヶ関ビルの完成 6.1 消防法の改正 ○超高層建築物及び地下 街等の防火管理を整備 ○防災規制を創設 10.15 第1回全国消防操法大会 の開催	2.21	えびの地震(M5.7) ○死者 3 ○建物全壊 368 十勝沖地震(M7.9) ○死者 52 ○建物全壊 673 ○建物全焼 18 水害(飛騨川バス転落事故他) ○死者 106 ○行方不明 13 ○負傷者 29 ○家屋全壊 64 ○家屋半壊 79 うち飛騨川バス転落事故 (8.18)死者・行方不明 104 大館市大火 ○負傷者 1 ○焼損棟数 281 ○焼損面積 37,790 神戸市有馬温泉池之坊満月城火災 ○死者 30 ○負傷者 44		
昭和44年 -1969			3.12	雪害 ○死者 1 ○アークード3箇所倒落 7.29 採石場での岩石崩落事故(庵 治) ○死者 1 ○負傷者 2 8.8 煙火製造工場爆発(高松市・小 泉煙火) ○死者 1 8.22 台風9号 ～23 ○負傷者 3 ○家屋半壊 3	2.1 2.1 4.17 5.7 11.11	川崎市消防局に全国初の 婦人消防官誕生 東京八重洲大地地下街 オープン 消防法施行令の改正 ○救急業務実施基準を人 口3万人以上の市に (財)日本防災協会の設立 消防審議会の答申 ○林野火災対策について 答申	2.5 5.18	郡山市警梯熱海温泉警光ホテル火災 ○死者 30 ○負傷者 41 加賀市大火 ○負傷者 16 ○焼損棟数 68 ○焼損面積 33,846		

年	県				全 国			
	月日	消 防 一 般	日 月	災 害 ・ 事 故 等	日 月	消 防 一 般	日 月	災 害 ・ 事 故 等
昭和45年 -1970	1. 7	綾上町4校区婦人防火クラブ結成	1. 12	池田町林野火災1 ○負傷者 8 ○焼損面積 303ha ＜陸上自衛隊出動＞	3. 14	万国博覧会の開催	4. 8	大阪市地下鉄工事現場ガス爆発 火災 ○死者 74 ○負傷者 311
	4. 1	(粉所、西分、羽床上、山田) 仲多度南部消防本部設置	1. 12 ～14 1. 12 ～14 2. 11 5. 5 8. 21	池田町林野火災2 ○負傷者 8 ○焼損面積 221ha ＜陸上自衛隊出動＞ 煙火製造工場爆発事故 (高松市 長尾煙火製造所) ○死者 2 ○負傷者 1 採石場での火薬爆発事故 (庵治町) ○死者 1 台風10号 ○負傷者 18 ○家屋全壊 4 ○家屋半壊8 ○床下浸水 223	3. 18 3. 23 9. 13	消防学校の教育訓練の基準の制定 消防審議会の答申 ○東京地方(関東地方南部)における大震災火災対策について答申 第1回消防行政集団研修実施	6. 29	佐野市両毛病院火災 ○死者 17 ○負傷者 1
昭和46年 -1971	1. 1	大川町婦人防火クラブ結成	4. 13	大野原町林野火災	4. 19	消防学校の施設人員及び運営の基準の制定	1. 2	和歌山市寿司由楼火災
	6. 15 9. 27	高松市防火協会設立 高松市消防本部に30m級はしご車を配置	4. 25 ～26 6. 26 8. 3	○焼損面積 131ha 財田町林野火災 ○負傷者1 ○焼損面積 16ha 米軍機墜落事故 (仲南町佐文) 台風23号 ○死者 1 ○負傷者 7 ○家屋全壊 3 ○家屋半壊 4 ○床上浸水 39 ○床下浸水 884	5. 25 5. 25 6. 1 11. 1	大都市震災対策推進要綱の制定 防災基本計画の修正 消防法施行令の改正 救急業務を実施すべき市町村を自治大臣の指定を受けたものに消防審議会の答申 石油プラットフォームの保安対策について答申	4. 27	○死者 16 ○負傷者 15 呉市林野火災 ○消防職員殉職 17 ○負傷者 1 ○焼損面積 340ha
昭和47年 -1972	3. 8	香川県一般高圧ガス保安協会設立	2. 5	川崎工業(株)坂出造船事業部 修繕ドック内火災 ○死者1名	2. 3 ～13	第11回冬季ボックリ札幌大会	5. 13	大阪市千日デパート火災
	4. 1	三豊地区広域市町村圏振興事務組合 消防本部設置						○死者 118 ○負傷者 81

年	県				下				全				国
	月日	消防一般	月日	災害・事故等	月日	消防一般	月日	災害・事故等	月日	消防一般	月日	災害・事故等	
昭和47年 -1972	4. 1 4. 1	大川広域消防本部設置 小豆地区消防本部設置	3. 31 ～4. 1	突風 ○死者 1 ○負傷者 1 ○家屋全壊 1	5. 11 6. 23	消防操法の基準制定 消防法等の改正 消防団員の公務災害補償に係る福祉施設の規定新設	7. 3 ～15	台風6・7・9号 (北九州・高根・広島中心) ○死者 421 ○行方不明 26 ○負傷者 1, 056 ○家屋全壊 2, 977 ○家屋全壊 2, 977○家屋半壊 10, 204 うち繁藤災害(高知県土佐山田町) ○死者消防団員等 60					
	6. 7 ～8	6月豪雨	6. 7 ～8	○負傷者 1 ○床下浸水 53	7. 13	石油パイプライン事業法の制定							
	9. 16 ～17	台風20号	9. 16 ～17	○死者 2 ○負傷者 11 ○家屋全壊 12 ○家屋半壊 29 ○床上浸水 1, 344 ○床下浸水 8, 439	9. 28	大震災対策施設等に対する国庫補助制度の創設 第1回全国消防救助技術大会開催	11. 6	敦賀市北陸トシ内列車事故 ○死者 30 ○負傷者 715					
昭和48年 -1973	1. 16 3. 2 4. 1 7 ～9	高松市婦人防火クラブ結成 県下初の特殊災害防災訓練を番の州エッジナート地域において実施 飯饒消防本部設置 渾水により各消防本部とも特別警戒態勢をとる。			10 11. 22 12. 13	石油ショック 自治体消防25周年記念全国消防大会の開催 消防審議会の意見 ○石油コンビナート地帯等の防災対策について意見	3. 8 7. 7 10. 8 10. 28 11. 29	北九州市済生会八幡病院火災 ○死者 13 ○負傷者 3 出光石油化学徳山工場火災(7ヶ所)水添塔 ○死者 1 ○損害額25億 チッソ石油化学(株)五井工場爆発火災(ボリア°ポ°リ製造装置) ○死者 2 ○負傷者 11 ○損害額25億 信越化学工業(株)直江津工場爆発火災(塩化ビニル製造装置) ○死者 1 ○負傷者 12 ○損害額520百万 熊本市大洋デパート火災 ○死者 100 ○負傷者 124					

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	災 害 ・ 事 故 等	消 防 一 般	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	
昭和49年 -1974	4. 1	香川県庁の機構改革により、総務部に消防防災課を置く。 ＜所掌事務＞ ○消防、防災に関する事項	2. 11 日本トヨソ工業(株)坂出工場爆発事故(ABN-R製造装置) ○負傷者1名	1. 3	消防審議会の意見 ○百貨店等の防災対策について	5. 9	伊豆半島沖地震(M6.9) ○死者 30 ○建物全壊 134 ○建物全壊 5			
	5. 3	香川用水一部通水 (S50. 6. 11本各通水)	4. 21 突風 ○死者 1 (香川町)	3. 15	高速道路救急業務に関する調査研究委員会の答申	5. 29	豪雨・台風8号等			
	7. 1	高松市消防本部を高松市消防局に改称	6. 9 丸亀市広島林野火災 ○焼損面積 32ha ＜陸上自衛隊出動＞	6. 1	○高速自動車国道における救急業務について答申 ○消防法の改正 ○消防用設備等の設置維持義務の強化 ○消防設備士の講習制度の新設	～8. 1	(静岡、神奈川、三重、兵庫、香川) ○死者 145 ○行方不明 1 ○負傷者 496			
			7. 6 台風8号集中豪雨(小豆大川中心) ～8 ○死者 29 ○負傷者 24 ○家屋全壊 47 ○家屋半壊 216 ○床上浸水 3, 243 ○床下浸水 6, 107 [災害対策本部設置] ＜災害救助法適用＞			9. 1	多摩川堤防決壊 ○建物流出 18			
			8. 31 台風16号 ○負傷者 2 ○床下浸水 64			12. 18	三菱石油水島製油所重油流出事故 ○重油 42, 888kl流出 ○損害額 500億			
			12. 2 川崎重工業(株)坂出造船事業部接岸中の船舶のボイラー逆火現象による爆発事故 ○死者1名 ○負傷者8名							
			12. 18 三菱石油(株)水島製油所重油流出事故 ○重油流出量(海上) 7, 500～9, 500kl ○水産被害甚大 [事故対策本部設置]							
昭和50年 -1975	9. 9	小豆島防火協会設立	5. 21 火薬類による飛石事故	3. 19	消防審議会の答申	2. 16	大協石油(株)四日市製油所タンク火災(灯油中間タンク)			
	10. 11	第3回香川県消防操法大会の開催(以後毎年開催)	(丸亀市広島・採石場) ○死者 1	8. 1	○消防力の基準の改正について(財)日本消防設備安全センターの設立		○損害額36百万円			

年		県			下			全			国	
月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	
昭和50年 -1975	10.27 普通寺市危険物保安協会設立	8.17 台風5号 ○負傷者 1 ○床下浸水 7 台風6号 8.22 ～23 ○負傷者 1 ○家屋全壊 1 ○家屋半壊 10 ○床上浸水 168 ○床下浸水 2,308	8.17 台風5号 ○負傷者 1 ○床下浸水 7 台風6号 8.22 ～23 ○負傷者 1 ○家屋全壊 1 ○家屋半壊 10 ○床上浸水 168 ○床下浸水 2,308	12.17 石油コンビナート等災害防止法の制定	12.17 石油コンビナート等災害防止法の制定	12.17 石油コンビナート等災害防止法の制定	12.17 石油コンビナート等災害防止法の制定	12.17 石油コンビナート等災害防止法の制定	12.17 石油コンビナート等災害防止法の制定	12.17 石油コンビナート等災害防止法の制定	12.17 石油コンビナート等災害防止法の制定	12.17 石油コンビナート等災害防止法の制定
昭和51年 -1976	4.1 宇多津町内の消防事務(消防団関係除く。)を坂出市に事務委託	3.21 直島町林野火災	3.21 直島町林野火災	5.29 消防法の改正	5.29 消防法の改正	5.29 消防法の改正	5.29 消防法の改正	5.29 消防法の改正	5.29 消防法の改正	5.29 消防法の改正	5.29 消防法の改正	5.29 消防法の改正
	5.1 坂出市防火協会発足		○焼損面積 24ha ＜陸上自衛隊出動＞		○危険物施設に関する完成検査前検査の新設 ○屋外タンク貯蔵所の審査委託制度創設		○焼損面積 24ha ＜陸上自衛隊出動＞		○危険物施設に関する完成検査前検査の新設 ○屋外タンク貯蔵所の審査委託制度創設		○死者 161 ○行方不明 10 ○負傷者 537 ○家屋全壊 1,669	
	7.14 第1回香川県総合防災訓練の実施			7.9 石油コンビナート等特別防災区域を指定する政令の制定 ○75区域を指定								
	9.29 香川県消防設備保守協会設立	8.1 高松市松島町で高松琴平電鉄の電車の正面衝突事故 ○負傷者 230	8.1 高松市松島町で高松琴平電鉄の電車の正面衝突事故 ○負傷者 230	11.1 危険物保安技術協会の設立								
	12 香川県が消火剤運搬用タンク車1台、泡放射砲車2台、高発泡器2基購入(高松市消防局に管理委託)	9.8 台風第17号小豆・東讃中心) ○死者 50 ○負傷者 127 ○家屋全壊 274 ○家屋半壊 317 ○床上浸水 4,477 ○床下浸水 15,224 [災害対策本部設置] ＜災害救助法適用＞	9.8 台風第17号小豆・東讃中心) ○死者 50 ○負傷者 127 ○家屋全壊 274 ○家屋半壊 317 ○床上浸水 4,477 ○床下浸水 15,224 [災害対策本部設置] ＜災害救助法適用＞									
昭和52年 -1977	3.7 坂出市消防本部、番の州工業地帯の災害に備え、大型高所放水車、大型化学消防車、泡原液搬送車の三点セット等を整備	2.23 直島町林野火災	2.23 直島町林野火災	4.16 (財)消防科学情報研究センターの設立								
	4.1 香川県消防防災施設整備事業費補助金交付要綱の策定		○焼損面積 153ha ＜陸上自衛隊出動＞									
	10.1 讃岐地区広域消防本部設置											

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等		
昭和52年 -1977	11.19	仲多度南部危険物保安協会設立	4.2	志度町五瀬山林野火災 ○焼損面積 48ha	3.15		3.15	栃木県那須野火災 ○焼損面積 1,517ha		
			4.19	坂出市城山林野火災 ○負傷者 1 ○焼損面積 78ha ＜陸上自衛隊出動＞			3.25	北九州市林野火災 ○消防職員殉職 4 ○負傷者 2 ○焼損面積 175ha ○焼損面積 175ha		
			4.20	坂出市五色台黒嶺林野火災 ○負傷者 4 ○焼損面積 28ha						
			4.23	国分寺町五色台猪尻山林野火災 ○焼損面積 15ha						
昭和53年 -1978	8.1	香川県エルピカース保安協会の社団法人	2.19	志度町林野火災	3.7	自治体消防制度30周年記念式典の挙行	1.14	伊豆大島近海地震(M7.0)		
			～20	○焼損面積 22ha	6.15	大規模地震対策特別措置法の制定		○死者 25 ○負傷者 205		
			2.28	直島町林野火災	7.1	救急隊員の行なう応急措置等の基準の制定		○建物全壊 94		
			～3.1	○焼損面積 11ha	9.14	消防救助操作法の基準の制定	3.1	新潟市スタック「エル・アドモ」火災		
			4.9	牟礼町林野火災	11.1	消防法施行令の改正		○死者 11 ○負傷者 2		
			～10	○負傷者 2		○救急隊員の資格の基準の新設	6.12	宮城県沖地震(M7.4)		
			4.11	採石場での火薬爆発事故(長尾町) (牟礼32ha 庵治115ha)				○死者 28 ○負傷者 11,028		
			9.15	○死者 1 ○負傷者 2			10.24	北海道有珠山噴火(二次泥流) (損害額4275百万円)		
			～16	台風18号						
			9.18	○床上浸水 2			11.8	昭和三十四年四日市製油所タンク漏洩事故 ○建物損壊 196		
				○床上浸水 86				○損害額770百万円		
				丸善流通サービス(株)坂出油槽所の爆発事故 ○死者 1名						

年	県				下				全				国
	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	
昭和54年 -1979	11.15	香川県少年婦人防火委員会発足	1.11	直高町林野火災 ○焼損面積 12ha 大雨	8.7	地震防災対策強化地域の指定 ○東海6県170市町村 〔平成10年2月1日現在167市町村〕	3.2	群馬県水上町上越新幹線大清水トンネル火災 ○死者 16 ○負傷者 1					
	11.2	高松市少年婦人防火委員会発足	6.29										
	11.2	小豆地区少年婦人防火委員会発足	～30	○床下浸水 110									
	11.24	飯饒幼少年婦人防火委員会発足	9.3 ～10.1	台風16号 ○負傷者 10 ○家屋全壊 2 ○家屋半壊 1									
			10.19 ～20	○床上浸水214 ○床下浸水 3,541 台風20号 ○死者 1 ○床上浸水 2 ○床下浸水 791									
昭和55年 -1980	1	香川県地震体験車「起震」購入	2.13	日本ビニロン工業(株)坂出工場爆発事故(5AAT製造装置)	5.28	地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の制定	1.12	滋賀県甲西町東洋ガス倉庫火災					
	2.26	大川地区少年婦人防火委員会発足			6.2	婦人消防団員の服制の制定							
	3.21	善通寺市少年婦人防火委員会発足			6.13	消防審議会の答申	4.1	○焼損面積 47,871ha 出光興産(株)徳山製油所プロント破裂事故(接触水添脱装置) ○損害額 2億					
	4.1	(社)香川県火薬類保安協会設立	9.11	○負傷者 3名 台風13号	11.27	○地域の安全防災体制を確立するための方策について答申							
	7.23	多度津町少年婦人防火委員会発足	10.14	○床下浸水 199 台風19号 ○床下浸水 46	12.5	消防100年記念消防団全国大会の開催 第2次臨時行政調査会の設置	8.16	静岡市静岡駅前ゴールデン街ガス爆発火災 ○死者 14 ○負傷者 223					
昭和56年 -1981	3	香川県災害対策用有線指令台を設置(県消防防災課と各消防本部とを専用電話で直結)	6.26	梅雨前線	1.23	消防法施行令の改正	(前年) 12～3	豪雪(東北、北陸)					
	4.1	坂出市幼少年婦人防火委員会発足	～29	○床下浸水 20 (多度津)									
	4.1	直島町幼少年婦人防火委員会発足			4.1	○準地下街に対する規制の新設 ○地下街等に対するガス漏れ火災警報設備の義務付け 防火防災訓練災害補償等共済制度の創設							
	5.22	高松市婦人防火クラブ連絡協議会発足											
	8.21	高松市少年消防クラブ連絡協議会発足											

年	県			全 国		
	消 防 一 般	日 月	災 害 ・ 事 故 等	消 防 一 般	日 月	災 害 ・ 事 故 等
昭和56年 -1981				5.15 11.16	「適マーク」制度の全国一斉実施 (旅館・ホテル) 東京都港区虎ノ門に日本消防会館 竣工	1. 6 東亜燃料工業(株)川崎工場クハ 爆発火災 ○死者 3 ○負傷者 2 ○損害額 128百万円 5. 9 根室市花咲湊船舶火災 ○死者 7
昭和57年 -1982	3.31 適マーク制度の実施により、防火安全基準に適合している旅館、ホテル等に対して、第1回目の適マークを交付(県下各消防本部) 7. 5 香川県消防設備保守協会の社団法人 10. 1 綾上町、綾南町、国分寺町の消防事務(消防団関係除く。)を高松市に事務委託	2.16 9.25	直島町(株)辰巳商会の1万ト濃硫酸のハルブからの濃硫酸の流出 台風19号 ○ 家屋全壊 20 家屋半壊 2 ○ 床上浸水 23 ○ 床下浸水 603	4. 1 (財)消防科学総合センターの設立 9. 9 第1回「救急の日」 9.22 第1回全国消防殉職者慰霊祭 12. 1 世界義勇消防連盟(FWWFA)結成	2. 8 東京都千代田区新ル・エージュマンション火災 ○死者 31 ○負傷者 34 2. 9 羽田沖日航機墜落事故 ○死者 24 ○負傷者 147 3.21 浦河沖地震(M7.1) ○負傷者 167 ○建物損壊 41 3.31 鹿島石油(株)鹿島製油所爆発火災 (重油脱硫装置) ○死者 2 ○負傷者 6 (内3人は48時間死者) ○損害額 30億 7. 5 梅雨前線豪雨及び台風10号 ～8.3 (長崎、熊本、三重中心) ○死者 427 ○行方不明 12 ○負傷者 1,175 ○家屋全壊 1,120 ○家屋半壊 1,919 くうち長崎大水害> ○死者・行方不明 299 ○負傷者 805○建物損壊 1,540	

年	県			下			全			国
	月日	消防一般	災害・事故等	月日	消防一般	災害・事故等	月日	消防一般	災害・事故等	
昭和58年 -1983	4.12	三豊地区防火委員会発足		3.31			5.26			日本海中部地震(M7.7) ○死者 104 ○負傷者 324 ○建物全壊 1,584 ○東北電力(株)秋田火力発電所原油タンク火災(損害額305百万円) 梅雨前線豪雨(山陰豪雨他) ○死者 112 ○行方不明 5
			丸亀市本島林野火災 ○負傷者 2 ○焼損面積 39ha <陸上自衛隊空中消火> 9.28 台風10号 ○死者 1 ○行方不明 1 ○負傷者 2 ○家屋全壊 8 ○家屋半壊 7 ○床上浸水 342 ○床下浸水 6,832	11.22	行政事務の簡素合理化及び整理に関する法律の制定(消防法の改正) ○危険物取扱者試験及び消防設備士試験に関し、指定試験機関制度を導入	7.20 ~29				8.16 名古屋地下鉄火災 ○消防職員殉職 2 10.3 三宅島雄山噴火 ○建物損壊 400 11.22 静岡県掛川市ヤマルカエーション「つま恋」フタバソファ爆発事故 ○死者 14 ○負傷者 27 ○死者 14 ○負傷者 27
昭和59年 -1984	5.22	讃岐地区防火委員会発足		10.1	(財)消防試験研究センターの設立		前年12			雪害(新潟、富山中心)
	7.2	香川県婦人防火クラブ連絡協議会発足 仲多度南部地区防火委員会発足 高松市幼年消防クラブ結成 11.2 (財)消防試験研究センター香川県支部設立 12.1	1.31 雪害 ○負傷者 3 3.12 志度町林野火災 ○焼損面積 11ha 10.14 引田町林野火災 ~16 ○焼損面積 66ha <陸上自衛隊空中消火>	11.28	消防防災衛星通信システム運用開始	~3				○死者 131 ○負傷者 1,366 ○家屋全壊 61 ○家屋半壊 128 3.5 三井石油化学工業(株)岩国大竹工場タンク爆発火災(トレンク) ○損害額 78百万円 9.14 長野県西部地震(M6.8王滝村) ○死者 29 ○負傷者 19 ○建物全壊 14 11.16 東京都世田谷電話局地下ケーブル火災

年	県				下				全				国
	月日	消防一般	月日	災害・事故等	月日	消防一般	月日	災害・事故等	月日	消防一般	月日	災害・事故等	
昭和60年 -1985	4. 1	香川県危険物安全協会連合会設立、 全国危険物安全協会連合会に加入	1. 16	煙火製造工場爆発事故 (坂出・平尾花火店) ○死者 1	3. 3	地震防災対策強化地域における地 震対策緊急整備事業に係る国の財 政上の特別措置に関する法律の改 正 長 ○法律の有効期限の5年間の延 長 消防審議会の意見 ○消防団の活性化対策に関する 意見 第1回全国婦人消防操法大会	7. 26	長野市地附山火事	7. 26	長野市地附山火事	7. 26	長野市地附山火事	○死者 26 日航ジャンボ機墜落事故 ○死者 520 ○負傷者 4 三菱石油(株)水島製油所タン カー爆発 ○死者 2 ○損害額111百万円
	4. 1	(財)消防試験研究センター香川県支部業 務開始	2. 2	豊浜・川之江県境林野火災 ○焼損面積 136ha (全体391ha)	7. 23	許可・認可等民間活動に係る規制 の整理及び合理化に関する法律の 制定(消防法の改正) ○消防用器械機具等に関する自 己認証制度の導入							
	8. 25	県下初の消防大会開催 (現 防火大会)	6. 21	梅雨前線 ○陸上自衛隊空中消火>	10. 22	第1回全国婦人消防操法大会	12. 17						
			~7.7	○床下浸水 62	12. 24								
			8. 29	土庄町林野火災 ○負傷者 4 ○焼損面積 23ha									
			~30	四国化成工業(株)爆発火災(丸亀 市)									
			10. 25	丸亀市広島林野火災 ○負傷者 2 ○焼損面積 262ha									
			~24	<陸上自衛隊空中消火>									
昭和61年 -1986	4. 1	香川県消防施設等整備費補助金交付 要綱の策定・施行	2. 26	長尾町林野火災 ○死者 1 ○焼損面積 31ha	4. 11	国際消防救助隊の結成・合同訓練 の実施	2. 11	静岡市東伊豆町熱川温泉火災	2. 11	静岡市東伊豆町熱川温泉火災	2. 11	静岡市東伊豆町熱川温泉火災	○死者 24 伊豆大島三原山噴火 ○全島民が島外避難
	12. 1	香川県消防相互応援協定の締結 (5市38町6消防組合)	3. 8	詫間町林野火災 ○負傷者 3 ○焼損面積 13ha	4. 15	消防法及び消防組織法の改正 ○救急業務の対象の明確化、応 急手当の根拠の法制化 ○救助隊設置法制化	11. 21	伊豆大島三原山噴火	11. 21	伊豆大島三原山噴火	11. 21	伊豆大島三原山噴火	
			~9	引田町林野火災 ○負傷者 3 ○焼損面積 13ha	5. 3	大規模特殊災害時における広域航 空消防応援実施要綱の策定							
			5. 13	観音寺市栗井町林野火災 ○焼損面積 34ha	8. 27	国際消防救助隊をカメルン共和国ニ 派遣 湖有毒ガス噴出災害に派遣							
			~14	観音寺市栗井町林野火災 ○負傷者 2 ○焼損面積 37ha	~9.6	消防吏員服制準則の改正 ○救助隊員の服制を制定							
			8. 2	<陸上自衛隊空中消火>	10. 1	国際消防救助隊をエル・サルヴァドル地 震災害に派遣							
			~23	土庄町豊島林野火災 ○負傷者 6 ○焼損面積 128ha	10. 11								
			8. 28	<陸上自衛隊空中消火>	~20								

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	日 月	災 害 ・ 事 故 等	日 月	消 防 一 般	日 月	災 害 ・ 事 故 等		
昭和62年 -1987	12.16	四国初の高速道路高松自動車道の開通(善通寺～土居間)	1.17 ～18	池田町二面石場林野火災 ○死者 1 ○焼損面積 29ha	9.16	国際緊急援助隊の派遣に関する法律の制定	3.18	日向灘地震(M6.6) ○死者 1		
			2.1 ～13	引田町小海林野火災 ○焼損面積 209ha <陸上自衛隊空中消火>	9.19	国際消防救助隊出動体制の基本を定める要綱の制定	5.26	東京電力(株)大井火力発電所炉内爆発火災(原油中継タンク) ○死者 4 ○負傷者 1 ○損害額60百万円		
			4.24 ～25	長尾町前山林野火災 ○負傷者 1 ○焼損面積 34ha <陸上自衛隊空中消火>	11.9	第1回「119の日」	6.6	東京都東村山市特別老人ホーム「松寿園」火災 ○死者 17 ○負傷者 25		
			10.16 ～17	台風19号(県下一円) ○死者 3 ○負傷者 10 ○家屋全壊 18 ○家屋全壊 25 ○床上浸水 3,720 ○床上浸水 16,502 <災害救助法適用：高松、三木>			12.17	千葉県東方沖地震(M6.7) ○死者 2 ○家屋全壊 16 ○家屋半壊 102		
昭和63年 -1988	4.1	瀬戸大橋の開通	6.2 ～3	台風2号 ○床下浸水 7	2.29	消防団活性化総合計画策定要綱の策定	5.18	大阪市ノ連客船777A-17E号火災 ○死者 11 ○負傷者 35		
			7.13 ～14	梅雨前線 ○床下浸水 146	3.9	自治体消防制度40周年記念式典の挙行	6.7	豪雨(西日本中心) ○死者・行方不明 31 ○負傷者 70		
			12.27 ～30	詫間町大浜林野火災 ○負傷者 3 ○焼損面積 105ha	4.1	瀬戸大橋開通(本州～四国を結ぶ)	～			
					5.24	消防法の改正 ○危険物の指定方法、製造所等の技術上の基準の抜本的見直し	7.29			
					6.1	消防吏員服制準則の改正 ○救急隊員の服制を制定	8.1	○建物損壊 264 関西電力(株)尼崎第三発電所発電設備爆発(炉内空気余熱器のホッパー部) ○死者 2 ○負傷者 13		
					12.6	南関東地域震災応急対策活動要領の制定		○損害額 245百万円		
					12.22	消防訓練礼式の基準の改正 ○女子隊員の訓練礼式を制定				
					12.22	消防救助操作法の基準の一部改正				

年	県			下			全			国
	月日	消防一般	月日	災害・事故等	月日	消防一般	月日	災害・事故等		
昭和64年	4.27	三豊広域防災センター開設	4.18	大川町林野火災 ○焼損面積 10ha	1.7	昭和天皇崩御、皇太子明仁親王即位 「平成」と改元	2.1	東京都調布市映画撮影所火災 ○死者 1 ○負傷者 26		
平成元年 -1989	12.16	新高松空港開港	4.18 ~22	豊中町林野火災 ○負傷者 4 ○焼損面積 23ha <陸上自衛隊空中消火>	1.8	消防審議会の答申 ○消防におけるヘリコプターの活用とその整備のあり方に関する答申	3.6	日本鋳業(株)水島製油所爆発火災 (重油脱硫装置) ○負傷者 1 ○損害額 480百万円		
			8.26 ~27	台風17号 ○床下浸水 36	11.2	危険物データベースの構築	7.1	大岩石油(株)青岸油槽所タンク爆発火災(和歌山)(アクリル酸エステルタンク) ○負傷者2 ○損害額93百万円		
			9.14	大雨・高潮 ○床上浸水 4 ○床下浸水 245	11.24	消防審議会の答申 ○消防体制・消防力の充実・強化について	7.16	福井県崖崩れ・マイクロバースに岩石落下 ○死者 15 暴風雨及び豪雨(全国) ○死者・行方不明 31 ○負傷者 96 ○建物損壊 236 東京都江東区スカイツリー南砂高層建築物火災 ○負傷者 6 豪雨(全国特に西日本) ○死者 20 ○負傷者 24 ○建物損壊 72		
			9.19	台風22号 ○負傷者 2 ○床下浸水 4			8.24			
平成2年	8.21	小豆島危険物安全協会設立	8.1	仲南町藍入林野火災<陸上自衛隊空中消火>	2.19	(財)自治体衛星通信機構設立	2.6	日本電工(株)徳島工場電気炉ガス漏洩事故(一酸化炭素中毒) ○死者 1 ○負傷者 8		
-1990			~14	○焼損面積 16ha	3.31	地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の改正				

年	県			全 国		
	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等
平成2年 -1990			<p>9.11 秋雨前線・台風19号 ～20</p> <p>○死者 2 ○負傷者 2</p> <p>○家屋全壊 2 ○家屋半壊 2</p> <p>○床上浸水 158 ○床下浸水 2,253 ＜災害対策本部設置＞</p> <p>10. 1 豪雨・台風19号 ～8 ○床下浸水 2</p> <p>11. 4 低気圧の通過に伴う災害 ○床上浸水 8 ○床下浸水 166</p>	<p>6.22 国際消防救助隊をイラン・イラク共和国 ～7.2 地震災害に派遣</p> <p>7.18 国際消防救助隊をフィリピン共和国地震 ～26 災害に派遣</p>	<p>3.18 尼崎市長崎屋尼崎店百貨店火災 ○死者 15 ○負傷者 6</p> <p>5.26 東京都板橋区第一化成工業工場 火災 ○死者 8 ○負傷者 18 ○豪雨 (全国) ○死者 32 ○負傷者 109</p> <p>7.22 ○建物損壊 509</p> <p>9.11 豪雨及び暴風雨 (全国) ～20 ○死者・行方不明 44 ○負傷者 197 ○建物損壊 1,056</p> <p>12.11 竜巻 (千葉県) ～12 ○負傷者 79 ○建物損壊 262</p>	
平成3年 -1991	12.19	高松市消防局に50m級はしご付消防自動車 を配置	<p>7. 4 梅雨前線 ～5 ○家屋半壊 1 (土庄町)</p> <p>9.26 豪雨・台風19号 ～28 ○負傷者 7 ○床上浸水 12 ○床下浸水 554</p>	<p>3.22 住宅防火対策推進に係る基本方針 の策定</p> <p>4.23 救急救命士法の制定 ○救急救命士制度の創設 (財)救急振興財団の設立</p> <p>5.15 国際消防救助隊をバンラデッシュ人民 共和国に派遣</p> <p>～6.6 12. 1 地域衛星通信ネットワーク運用開始</p>	<p>3. 7 日立市林野火災 ○住宅全焼 13 ○住宅部分焼 13 ○焼損面積 217ha</p> <p>3.14 広島市新交通システム橋げた落下事 故 ○死者 14 ○負傷者 9</p> <p>5.14 信楽高原鉄道列車正面衝突事故 ○死者 42 ○負傷者 576 雲仙岳噴火災害 (長崎県)</p> <p>5.26 ～ H5.8.2 ○死者・行方不明 44 ○負傷者 12 ○建物損壊 795</p> <p>6.26 ライオン(株)千葉工場爆発事故 (タワール精留塔) ○死者 2 ○負傷者 10 ○損害額 850百万円</p>	

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等		
平成3年 -1991								9.12 豪雨及び暴風雨(全国) ○死者・行方不明 86 ○負傷者 3,133 ○建物損壊 15,464		
平成4年 -1992	4. 1	香川県消防用設備等点検済表示制度の美施(社)香川県消防設備保守協会	1. 18	直島町京の山林野火災 ○焼損面積 15ha 2. 27 内海町新谷林野火災 ○負傷者 3 ○焼損面積 26ha <神戸市消防へ空中消火> 6. 6 東京製鉄(株)高松工場電気炉爆発事故 ○負傷者 6名 8. 8 豪雨・台風10号 ○床上浸水 2 ○床下浸水 220 8.13 高松まつり煙火事故 ○負傷者 1 8.29 アジアリウム(株)直島工場火災 ○負傷者 3名	8.21	南関東地域直下の地震対策に関する大綱の制定	3.17	千歳市道央自動車道玉突衝突事故 ○死者 2 ○負傷者 73 6. 2 茨城県通勤列車脱線衝突事故 ○死者 1 ○負傷者 181 6.16 茨城県守谷町煙火工場爆発火災 ○死者 3 ○負傷者 56 ○焼損棟数 15 ○損壊棟数 600 10.16 富士石油(株)袖ヶ浦製油所プラント爆発(熱交換器) ○死者 9 ○負傷者 8 ○損害額28億円 11. 2 北海道釧路林野火災 ○焼損面積 1,030ha 11. 3 島原鉄道正面衝突事故 ○死者 1 ○負傷者 72		
平成5年 -1993	3. 1	高松市消防局において、救急救命士による高度救急3項目の業務を開始	5. 8	火薬消費による飛石事故 (丸亀市広島・採石場) ○負傷者 1 6.28 梅雨前線 ○床上浸水 4 7.27 台風5号 ○床下浸水 253 ○床上浸水 4 ○床下浸水 3 7.29 台風6号 ○床上浸水 1 ○床下浸水 1	3.31	航空消防防災体制の整備の促進について(消防庁次長通知) ○各道府県の区域に消防防災ヘリコプターを1機以上配置 自治体消防45周年記念大会 国際消防救助隊をボランティアで派遣	1.15	釧路沖地震(M7.8) ○死者 2 ○全壊 53 5.13 暴風雨及び豪雨(全国) ○死者・行方不明 26 7.25 ○負傷者 37 7. 4 住友化学工業(株)愛媛工場爆発火災 (シメキスルマフキスト溶媒回収ドラム) ○死者 1 ○負傷者 3 ○損害額15億円		

年	県			下			全			国
	月日	消防一般	月日	災害・事故等	月日	消防一般	月日	災害・事故等		
平成5年 -1993	12.22 高松市消防局に高規格救急自動車1台配置		8.1 豪雨 ～2 ○床下浸水 4 9.3 台風13号 ～4 ○床下浸水 12 ＜災害対策本部設置＞ 10.28 火薬消費による飛石事故 (丸亀市広島・採石場) ○約300m離れた小学校の体育館の屋根、床を貫通するなど、飛石により保安物件に対し、被害を与えた。 11.1 火薬消費による飛石事故 (内海町・採石場) ○負傷者 1				7.12 北海道南西沖地震(M7.8) ○死者・行方不明 230 ○負傷者 323 ○建物全壊 601 7.26 暴風雨及び豪雨(全国、台風5,6号含む) ○死者・行方不明 14 ○負傷者 22 ○建物損壊 41 7.31 暴風雨及び豪雨(西日本中心、台風7,11号含む) ○死者・行方不明 93 8.29 ○負傷者 219 ○建物損壊 950 9.1 暴風雨及び豪雨(九州南部中心、台風13号含む) ○死者・行方不明 48 ○負傷者 396 ○建物損壊 1,784 10.5 大阪無人運転電車暴走 ○負傷者 217 10.12 東海道はるか沖地震(M7.1) ○死者 1			
平成6年 -1994	1.2 香川県防災航空隊発足 3.29 香川県防災行政無線開局式典 4.1 香川県防災行政無線運用開始 4.1 香川県防災ヘリコプター応援協定の締結(県、5市38町6組合) 4.8 防災ヘリコプター「ホープ」就航 7 渾水により、各消防本部とも特別警戒態勢をとる。	1.28 コスモ石油(株)坂出製油所爆発火災 ○負傷者 2 ○焼損面積 90 8.6 たどつまつり煙火事故 ○負傷者 1	2.1 ハロンガの運用等について(予防課長、危険物規制課長通知) ○モトリオール議定書に基づきハロン消火剤の回収、再利用を促進するため、ハロンガ推進協議会を設立 3.3 消防審議会の答申 6.22 消防法の改正 ○消防作業従事者に対する補償範囲のあり方について ○消防作業従事者に係る損害補償の対象範囲の拡大 ○危険物取扱者試験及び消防設備士試験に係る受験資格の認定制度の廃止 6.22 P L 法(製造物責任法)が成立	2.25 東燃(株)川崎工場火災(流動接触分解装置に付属する動力回収装置) ○損害額 1,008百万円 4.26 名古屋空港中華航空機事故 ○死者 264 ○負傷者 7 6.27 長野県松本サリン事件 ○死者 7 ○負傷者 79 7.6 海老名市作業員寄宿舎火災 ○死者 8						

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等		
平成6年 -1994					7. 1 危険物の規制に関する政令の改正 ○旧法タノの耐震性能の強化 9. 4 関西新空港が開港 9. 11 第1回全国女性消防団員活性化大会開催(静岡県沼津市)	10. 4 北海道東方沖地震(M8.1) ○全壊 61 福島市若喜旅館本館火災 ○死者 5 ○負傷者 3 12. 21 三陸はるか沖地震(M7.5) ○死者 3 ○全壊 72				
平成7年 -1995	9. 1	第1回震災対策総合訓練の実施	1. 17	兵庫県南部地震	3. 23	地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の改正 ○法律の有効期限の5年間の延長 3. 29 消防庁衛生地球局運用開始 4. 21 サリン等による人身被害の防止に関する法律の制定 6. 16 災害対策基本法の改正	1. 17	兵庫県南部地震 (M7.3 最大震度7) (阪神・淡路大震災) ○死者 6,433 ○行方不明 3 ○負傷者 43,792 ○建物全壊 104,906 ○建物全焼 6,982 (平成14年12月26日現在)		
	9. 9	香川県救急医療情報システム運用開始	4. 8	丸亀市本島林野火災	6. 16	地震防災対策特別措置法の制定 緊急消防援助隊の創設(発足式)	3. 2	地下鉄サリン事件 ○死者 12 ○負傷者 5,510 東燃(株)川崎工場有害ガス漏洩事故 (定期点検中の硫化水素ガス漏洩) ○死者 1 ○負傷者 46 (内48時間死亡2名含む)		
	10. 2	四国四県広域応援協定の締結 ○食糧、飲料水及び生活必需品の相互融通	~12	<防災>空中消火 <陸上自衛隊>15機空中消火等 >	6. 30	○国内で発生する大規模災害に備え、全国の消防機関相互による迅速な援助体制を整備 地震防災対策特別措置法の施行 防災基本計画の修正 ○震災対策を中心とした大幅な見直し 消防組織法の改正	5. 3			
	12. 5	中国四国地方の災害時相互応援に関する協定の締結 ○食糧、飲料水及び生活必需品の相互融通	6. 1	山本町河内林野火災	7. 18 7. 18	○焼損面積 11ha <防災>空中消火 6. 3 豪雨 ~7. 7 ○全壊1(満濃町) ○床下浸水17(詳細不明) 豪雨	10. 27	○消防職員委員会制度の創設(平成8年10月1日発足) ○消防の広域応援体制の充実		

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	日 月	災 害 ・ 事 故 等	日 月	消 防 一 般	日 月	災 害 ・ 事 故 等		
平成7年 -1995			7.2 ～22 11. 4 ～7	○床下浸水 3 (詳細不明) 志度町末林野火災 ○焼損面積 65ha ○防炎へ空中消火>	10.3 11.15 11.29 12. 8	緊急消防援助隊要綱の制定 緊急防災基盤整備事業の創設 ○地方公共団体が21世紀までに緊急に実施する公共、公用施設の耐震改修及び防災基盤等の整備を支援 第1回緊急消防援助隊合同訓練の実施 災害対策基本法及び大規模地震対策特別措置法の改正				
平成8年 -1996	3.26 4. 1 9. 1	香川県地域防災計画「震災対策編」の策定 香川県庁の機構改革 ○消防防災課が総務部から生活環境部に改組 ○電気関係事務が消防防災課の所掌事務になる 第2回震災対策総合訓練の実施	4. 9 12 7.3 31	土庄町剝崎林野火災 ○負傷者 3 ○焼損面積 47ha ○防炎へ3機消防へ2機空中消火> ○陸上自衛隊へ5機空中消火> 坂出市鷲ノ山林野火災 ○負傷者 1 ○焼損面積 13ha	1.17 1.22 3.13 6.19	第1回「防災とボランティアの日」(第1回防災とボランティア週間) 全国航空消防協議会設立 消防研究所V S A T局運用開始 消防団員等公務災害補償等共済基金法の改正 ○消防基金の民間法人化等と内容をとする必要の改正 消防職員委員会の組織及び運営の基準の制定(消防庁告示) ○消防職員委員会の組織及び運営の基準 後期5ヶ年における住宅防火対策のあり方の策定	2.1 6.13	北海道古平町豊浜トンネル崩落事故 ○死者 20 福岡空港ガレージ・インドネシア航空機事故 ○死者 3 ○負傷者 109		
	11.6 ～7 11.25	緊急消防援助隊四国ブロック合同訓練(第1回)を徳島市で実施 高松市災害情報画像伝送システム運用開始	8.14 ～15	台風12号 ○軽傷2 (高松市・宇多津町) ○半壊1 (高瀬町) ○床上浸水3 (詳細不明) ○床下浸水321 (詳細不明) ○一部破損2 (豊中町)	7. 5 7. 8 10.3 ～11.6 12. 6 ～16	○死者 2 ○負傷者 1 ○損害額 7,640百万円 高山本線ひだ15号脱線事故 ○負傷者 16 日本アルミアルミ(株)大阪工場爆発事故(水素化反応器) ○負傷者 12 ○損害額 218百万円	6.18 6.25 7.17	東京電力(株)姉崎火力発電所爆発事故(発電用ボイラー爆発) ○死者 2 ○負傷者 1 ○損害額 7,640百万円 高山本線ひだ15号脱線事故 ○負傷者 16 日本アルミアルミ(株)大阪工場爆発事故(水素化反応器) ○負傷者 12 ○損害額 218百万円		

年	県			全 国		
	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等
平成8年 -1996			11.28 大倉工業(株) 託問工場爆発火災 ○死者 2(3) ○負傷者 10(12.2死亡1名含む) ○焼損面積 4,403			9.21 暴風雨及び豪雨(千葉県、神奈川県中心、台風17号含む) ○死者・行方不明 13 ○負傷者 96 ○建物損壊 81 10.28 広島市高層アパート火災 ○負傷者 3 10.31 東京都江東区深川第四中学校異臭事件 ○負傷者 130 12.6 蒲原沢土石流災害(長野県と新潟県の県境) ○死者 14 ○負傷者 8
平成9年 -1997	4.1 震度情報ネットワークシステム運用開始 9.1 第3回震災対策総合訓練の実施 ○場所：大内町とらまる公園内 ○参加機関：41機関、約700名	3.8 白鳥・引田林野火災 ○負傷者 2 ○焼損面積 477ha ○防災ヘリ5機消防ヘリ2機空中消火 > <陸上自衛隊ヘリ4機空中消火> <海上自衛隊ヘリ2機空中消火> 7.12 梅雨前線 ○床下浸水 74 (高松市56・丸亀市8・坂出市1・志度町2・多度津町7) 台風9号 ○軽傷3 (内海町・香南町・満農町) 7.26 ○全壊1 (香川町) ○半壊1 (高松市) ○一部破損6 (詳細不明) ○非住家被害3 (詳細不明) ○床下浸水5 (詳細不明)	3.28 第1回「防災まちづくり大賞」の表彰(消防庁・消防科学総合センター) 4.1 消防団員等公務災害補償等共済基金の民間法人化 6.3 防災基本計画の修正 9.29 ○事故災害対策編の追加 国際緊急援助隊(専門家チーム)をインドネシア共和国森林火災に派遣 10.10 中国北京市に対するプロジェクト方式技術協力がスタート 10.11 国際緊急援助隊をインドネシア共和国森林火災に派遣 10.22 11.11	1.2 船籍不明の号海難・流出油災害 ○死者 1(船長) ○C重油 6,240kl(推定)が海上流出、8府県に漂着 3.7 全国で大規模林野火災続発 ○群馬県安中市・榛名町(焼損面積 196.2ha) ○香川県白鳥町・引田町(焼損面積 480.0ha) ○山梨県勝沼町(焼損面積 374.9ha) 3.11 動燃東海事業所アスファルト固化施設火災・爆発 ○放射性汚染物質が管理区域外へ漏洩		

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	
平成9年 -1997			<p>8.21 コスモ石油(株)坂出製油所タンク火災 (ナフサの特定タンク火災)</p> <p>9.16 台風19号</p> <p>～17 ○重傷1 (高松市)</p> <p>○床上浸水6 (志度町3・土庄町・牟礼町・詫間町)</p> <p>○床上浸水 307 (詳細不明)</p> <p>10.22 多度津町沖から詫間沖にかけての油流出事故</p> <p>～24 ○香川県油流出事故対策本部設置</p>			<p>台風7・8号、7月梅雨前線豪雨、台風9号(全国)</p> <p>○死者 30 ○負傷者 129</p> <p>○建物損壊 70</p> <p>出水市土石流災害</p> <p>○死者 21 ○負傷者 13</p> <p>J R 大月駅構内列車衝突脱線事故</p> <p>○負傷者 32</p> <p>10.12 エアジェット`航空機乱気流事故</p> <p>○死者 1 ○負傷者 96</p> <p>12.29 エアフライト`航空機乱気流事故</p> <p>○死者 1 ○負傷者 96</p>				
平成10年 -1998	<p>1.16 緊急消防援助隊中国・四国ブロック合同訓練(第1回)を岡山市で実施</p> <p>3.25 香川県消防広域基本計画報告書の策定</p> <p>4. 1 消防用設備等点検済表示制度の改正要綱の実施(社)香川県消防設備保守協会)</p> <p>○表示登録会員制度の導入</p> <p>5.31 自治体消防制度50周年記念香川県大会の開催</p> <p>11. 6 緊急消防援助隊中国・四国ブロック合同訓練(第2回)を高松市で実施</p>	<p>2.21 四国電力鉄塔倒壊事故</p> <p>○停電 約17,000戸</p> <p>(番の州企業操業停止)</p> <p>○四国ガス供給停止 8,973戸</p> <p>5.11 J A 協栄灯油流出事故(満濃町)</p> <p>5.26 今治造船(株)接岸船舶の爆発事故</p> <p>○負傷者 6名</p> <p>8.19 福丸(福丸)横転事故(高松市)</p> <p>8.22 塩江温泉まつり煙火事故</p> <p>○負傷者 6</p> <p>9.16 詫間町名部戸地区林野火災</p> <p>～18 ○焼損面積 24ha</p> <p><防災へり4機空中消火></p>	<p>3. 7 自治体消防制度50周年記念式典を日本武道館で開催</p> <p>4. 1 セルフ給油所に係る消防法令の整備・施行</p>	<p>7.25 和歌山毒物カレシ事件</p> <p>○死者 4名</p> <p>8.26 豪雨(福島、栃木茨城等)</p> <p>～31</p> <p>○死者 20 ○不明 2</p> <p>○負傷者 55 ○住家全壊 122</p> <p>○住家半壊 142</p> <p>9.15 台風5号等(長野、北海道)</p> <p>～17 ○死者 7 ○負傷者 47</p> <p>○住家全壊 4 ○住家半壊 17</p> <p>9.2 台風7,8号等(近畿、中部)</p> <p>～23 ○死者 18 ○不明 1</p> <p>○負傷者 609 ○住家全壊 91</p> <p>○住家半壊 1,161</p>						

年	県			全 国		
	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等
平成10年 -1998			<p>9.22 <陸上自衛隊> 5機空中消火> 台風7号(高松市中心) ○床上浸水257 (高松市256・多度津町1) ○床下浸水1248 (高松市1064・坂出市107・丸亀市4・三木町18・長尾町2・多度津町86・琴平町3・香南町2・綾歌町4・香川町6・満濃町2) ○非住家床下浸水2 (綾南町1・香南町1) 台風10号 ○床下浸水4(多度津町) ○一部損壊1(内海) ○非住家一部損壊 2(内海町) ○避難勧告3箇所41人(高松市1箇所30人・引田町2箇所11人) ○自主避難2箇所 6人(大内町)</p> <p>10.17</p>	10.16 台風10号等(岡山等) ○死者 12 ○不明 1 ○負傷者 71 ○住家全壊 34 ○住家半壊 41		
平成11年 -1999	<p>5.23 土器川水防演習</p> <p>7.21 丸亀市垂水町地先 香川県コンピェータ西暦2000年問題対策 推進会議設置</p> <p>9.1 香川県震災対策訓練 仁尾町内</p> <p>10.21 第14回全国婦人消防操法大会で仲南 町婦人消防隊が準優勝</p>	<p>2.14 土庄町 皇踏山林野火災</p> <p>～15 焼損面積 13ha</p> <p>9.14 台風16号</p> <p>～15 ○床下浸水3 (高松市) ○床下浸水96 (高松市95・内海町1)</p> <p>9.24 台風18号 ○重傷2 (観音寺市) ○軽傷2 (白鳥町1・豊中町1)</p> <p>10.3 観音寺市外で震度4の地震発生 震源地：観音寺沖 7 km M4.5</p> <p>12. 9 直島町柏島南東沖で土砂運搬船 と貨物船が衝突し、土砂運搬船 沈没、重油流出 死者 1</p> <p>12.31 琴平町でアパルト全焼火災 死者 3 負傷者 2</p>	<p>7.16 地方分権の推進を図るための関係 法律の整備等に関する法律の公布</p>	<p>6.23 梅雨前線豪雨(福岡、広島等) ～7.3 ○死者 38 ○不明 1 ○負傷者 78 ○住家全壊 127 ○住家半壊 100</p> <p>7.3 豊中市共同住宅火災 ○死者9</p> <p>8.13 豪雨(全国) ～16 ○死者 16 ○不明 1 ○負傷者 11 ○住家全壊 6 ○住家半壊 26 (神奈川県立倉川でキャバ -13名死 亡)</p> <p>9.14 台風16号等(岐阜、福島) ～16 ○死者 7 ○不明 1 ○負傷者 11 ○住家全壊 9 ○住家半壊 22</p>		

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等		
平成11年 -1999								9.21 ～25 台風18号等(全国) ○死者 31 ○負傷者 1,218 ○住家全壊 338 ○住家半壊 3,629 (熊本県不知火町で高潮により12名死亡) 9.3 茨城県東海村ウラン加工施設における臨界事故 ○死者 1 ○負傷者 2 ○被爆者 69 10.27 豪雨(千葉、茨城等) ○死者 4 ○不明 1 ○負傷者 7 ○住家全壊 30 ○住家半壊 17 11. 1 首都高速における過酸化水素タンクローリー爆発事故 ○負傷者 2		
平成12年 -2000	3.28 香川県新庁舎竣工 4. 1 香川県防災情報システム運用開始 6. 6 豊島廃棄物問題公害調停成立	2.18 豊浜町林野火災 ～20 焼損面積 70ha 6. 7 高松市上之町でコトデンバス、クレーン車と衝突 重傷 2 軽傷22 10. 6 鳥取県西部地震 震度5強 土庄町 震度5弱 観音寺、庵治、国分寺、三野 ○軽傷2 (丸亀市1・観音寺市1)	4. 1 機関委任事務の廃止、ほとんどの事務が自治事務化され、本格的な地方分権時代の到来 (危険物規制事務の自治事務化)	1.4 静岡県で住宅兼新聞販売店でカーペットがストーブで引火し、全焼 死者 7 3. 4 郷分トシ火災(山陽自動車道 福山) 死者 1 負傷者28 車両37台 3. 8 地下鉄中目黒駅脱線衝突事故 死者 5 負傷者32 3. 9 水越トシ事故(大阪～奈良) 負傷者18 3.31 有珠山噴火(以降断続的噴火) ○住家全壊 27 半壊141 5. 9 ○非住家全壊 2 半壊 8 (避難指示 6,699世帯 15,267人) 6. 1 京都大原 寂光院本堂全焼						

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等		
平成12年 -2000			10. 6	鳥取県西部地震 ○一部損壊3 (丸亀市2・津田町) ○香川県災害対策本部設置 ○市町災害対策本部設置 (2市15町)			6. 29	日進化工(株)群馬工場の下りパイプ製造ブレイク爆発事故 ○死者 4 ○負傷者47 雪印牛乳食中毒事件 (被害者1万人以上)		
							7. 1 ～	三宅島近海等地震 (神津島近海でM6.4の地震、以降M4～6の群発地震) ○死者 1 ○負傷者15 ○住家全壊 15 半壊 20 日本油脂(株)武豊工場爆発 ○負傷者 78 ○工場内 全壊24 半壊195		
							8. 1	○周辺 全壊12 半壊26 豪雨 (愛知等) ○死者 10 ○負傷者 98 ○住家全壊 27○住家半壊 77		
							9. 1 ～17	鳥取県西部地震 (M7.3) ○負傷者 147 ○住家全壊 426○住家半壊 2,987		
平成13年 -2001	3. 29	四国横断道高松以東開通 (高松中央～板野) ◎液化石油ガス設備工事届の受理に係る事務を市町に権限委譲 ◎県組織改正により、グループ制の導入 香川県総合防災訓練(高松市香東川河川敷) 香川県雑居ビル等防火安全対策連絡会議の設置	3. 24	雲予地震 ○一部損壊5 (観音寺市1・琴平町2・綾上町1・綾歌町1・山本町1) 梅雨前線豪雨 ○床下浸水5 (多度津町4・豊浜町1) ○一部損壊1 (高松市)	1. 6	◎国の機構改革により自治省消防庁から総務省消防庁となる。 ◎消防研究所が独立行政法人となる。 3. 3 消防吏員服制準則及び消防団員服制準則の一部改正 6. 1 台風強度新予報(48時間予報)	1. 31	焼津上空で日航機同士のニアミス事故 ○負傷者 42 ハワイ・オアフ沖で宇和島水産高実習船「えひめ丸」が米原子力潜水艦に衝突され沈没 ○行方不明 9 (生徒4名) 雲予地震(M6.4) ○死者 2 ○負傷者 288 ○住家全壊 56 ○住家半壊 405		

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等		
平成13年 -2001			8.21 ～22	台風11号 ○床下浸水1 (塩江町) ○非住家全壊1 (高松市)			5.5 5.8 5.18 6.8 7.21 9.1 9.11	千葉県(有)菊池組作業員宿舍火災 ○死者11 武富士弘前支店ガソリン放火事 件 ○死者5 ○負傷4 静岡 住宅兼作業場火災 ○死者 6 大阪 池田小学校に包丁男乱入無 差別殺人事件 ○死者8 ○負傷15 明石市花火大会横断橋将棋倒し 事故 ○死者10 ○負傷129 新宿歌舞伎町雑居ビル火災 ○死者44 ○負傷3 米国同時多発テロ発生(ハイジャック 航空機による貿易センター等倒 壊) ○死者・行方不明3,915		
平成14年 -2002	4.1	香川県庁の機構改革 ○生活環境部消防防災課が総務部 危機管理課に改組し、総務部に危機 管理監(知事公室長兼務)を置く。	8.2	丸亀市本島林野火災 焼損面積 160ha	3.27 4.26	消防団地域活動消防庁長官表彰の 第1回表彰の実施 消防法改正	3.12	延岡市旭化成レオナ工場火災 ○周辺住民約9400人に対し避難 勧告		
	4.1	さぬき市誕生 (津田,大川,志度,寒川,長尾の5町 が合併)	12.14	詫間町栗島林野火災 焼損面積 17ha		○防火対象物点検制度の導入 ○措置命令権の強化・明確化 ○表示・公表制度の導入 ○罰則の強化 等	4.15 7.9 ～14	苫小牧 出光石油(株)製油所 ○直接脱硫装置が爆発火災 台風6号(全国) ○死者 6 ○不明 1		

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等		
平成14年 -2002						7. 26 7. 9	東南海・南海地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法の制定(H15.7.25施行) ○勲章を2種6段階に改正 ○危険業務従事者叙勲制度の ○褒章の対象事績の範囲拡大	7. 9 台風6号(全国)	災 害 ・ 事 故 等	○負傷者 30 ○住家全壊 21 ○住家半壊 29 大阪道頓堀中座(解体中)全焼 長崎 ぎ装工事中の客船「ダブリン」火災
平成15年 -2003	3. 3 3. 2 3. 3	高潮注意報・警報基準の変更 霜注意報基準の変更 四国横断道(高松西～高松中央間)開通	4. 23 5. 11～12 5. 14	メガマート豊中店全焼 ○焼損 6,256㎡ SARS(重症急性呼吸器症候群)禍 (小豆島観光をした台湾人医師がSARS感染者であることが判明) 香川県防災行政無線青峰中継局鉄塔ポルト抜取り事件	3. 26 6. 6 6. 18	救急救命士法施行規則の改正 ○救急処置の範囲等 ○包括的指示下での除細動の実施 武力攻撃事態における我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全の確保に関する法律制定(H15.6.13施行) 消防組織法改正	3. 26 6. 6 6. 18	救急救命士法施行規則の改正 ○救急処置の範囲等 ○包括的指示下での除細動の実施 武力攻撃事態における我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全の確保に関する法律制定(H15.6.13施行) 消防組織法改正	2. 18 4. 11 5. 8～13 5. 26 ～27	韓国大邱市地下鉄放火事件 ○死者198 鹿児島市南国花火製造所爆発火災 ○死者9 SARS禍(全国) ○SARSに感染した台湾人医師が大阪・京都・兵庫・香川を観光、5/17SARS感染確定 宮城県沖を震源とする地震(M7.1) ○最大震度6弱 ○負傷者174 ○住家全壊2 ○住家半壊 21 神戸市西区の住宅火災において消防職員死傷 ○死者4(うち消防職員3) ○負傷者10(うち消防職員10) 梅雨前線による大雨 ○死者23 ○負傷者25 ○住家全壊51 ○住家半壊 56 ○熊本県水俣市土石流災害で19人死亡
	4. 1 4. 1 5. 25 5. 28 6. 1 9. 1 12. 17	東かがわ市誕生(引田、白鳥、大内の3町が合併) 大川地区広域行政振興整備事務組合が大川広域行政組合に名称変更 土器川水防演習 丸亀市垂水町地先 火災気象通報協定変更 大雨・洪水注意報・警報、乾燥注意報基準の変更 香川県総合防災訓練 多度津町多度津山 東南海・南海地震防災対策推進地域に県内3市6町が指定 (高松市、さぬき市、東かがわ市、内海町、三木町、牟礼町、庵治町、仲南町、高瀬町)	5. 19 8. 8～9	高松市西宝町バス・クレーン衝突事故 ○負傷者 23 台風10号 ○軽傷2(高松市1・さぬき市1) ○一部損壊4(高松市2・内海町1・綾上町1) ○床上浸水19(さぬき市15・東かがわ市2・牟礼町2) ○床上浸水223(高松市1・さぬき市166・東かがわ市14・内海町4・池田町2・牟礼町36) ○市町災害対策本部設置(内海町・土庄町・池田町)	6. 18 6. 18	消防法改正 ○消防用設備等性能規定導入 ○日本消防検定協会・登録検定機関の業務 ○国の火災原因調査 ○救急業務実施市町村を政令で定める制度の廃止	6. 18 6. 18	消防法改正 ○消防用設備等性能規定導入 ○日本消防検定協会・登録検定機関の業務 ○国の火災原因調査 ○救急業務実施市町村を政令で定める制度の廃止	7. 18 ～21	梅雨前線による大雨 ○死者23 ○負傷者25 ○住家全壊51 ○住家半壊 56 ○熊本県水俣市土石流災害で19人死亡

年	県			下			全			国		
	月日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等
平成15年 -2003					7. 25 11. 3 11. 19 11. 2 12. 16 12. 17	東南海・南海地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法第8条の規定の施行に伴う総務省関係省令の整備に関する省令の施行に係る第1回危険業務従事者叙勲 消防学校の教育訓練に関する基準の全部改正 自治体消防55周年記念大会を東京ドームで開催 東南海・南海地震対策大綱制定 東南海・南海地震防災対策推進地域指定(21都府県652市町村)	7. 26 ～28 8. 7 ～10 8. 14 ～9. 27 8. 29 9. 3 9. 8 ～10 9. 11 ～14	宮城県北部を震源とする地震(M6. 4) ○最大震度6強 ○負傷者675 ○住家全壊1, 276 ○住家半壊3, 809 台風10号(全国) ○死者17 ○不明2 ○負傷者94 ○床上浸水389 ○床下浸水2, 009 三重ゴミ固化燃料(RDF)発電所貯蔵槽火災(三重県多度町) ○死亡2 ○負傷者5 ○緊急消防援助隊派遣 名古屋市エカクモビル名古屋油槽所がリソック火災 ○死亡4 ○負傷者3 東海市新日鉄名古屋製鉄所COGが火災 ○負傷者15 ブリヂストン栃木工場火災(栃木県黒磯市) ○1, 708世帯に避難指示 ○緊急消防援助隊派遣 台風14号 ○死者3 ○負傷者95 ○床上浸水71 ○床下浸水292				

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等		
平成16年 -2004			6.26 大雨	○軽傷1 (普通寺市) ○床下浸水6 (高松市1・坂出市5) ○非住家被害1 (三木町) 台風10号 ○軽傷1 (坂出市) ○一部破損1 (丸亀市) ○床下浸水75 (高松市38・丸亀市5・観音寺市6・直島町15・多度津町7・詫間町4) 台風11号 ○床下浸水4 (高松市) 台風15号関連前線による大雨 ○死者5○負傷者4 ○全壊1○半壊3 ○床上浸水16○床下浸水391 (いずれも詳細不明) 大雨 ○床上浸水1 (琴平町) ○床下浸水23 (高松市1・坂出市2・琴平町12・仲南町4・満濃町3・塩江町1) 今治造船船内爆発事故 ○死者2 ○負傷者2 台風16号と高潮 ○死者3 ○負傷者6 ○全壊1 ○半壊9 ○床上浸水5946 ○床下浸水15643 ○災害対策本部設置 (いずれも詳細不明)			7.18 福井豪雨 ○死者4 ○不明1 ○負傷者19 ○全壊66 ○半壊135 ○床上浸水4052 台風10号, 11号と関連する大雨 ○死者3 ○負傷者19 ○全壊12 ○半壊15 福井美浜原子力発電所3号機二次冷却水噴出事故 ○死者4 ○負傷者7 台風15号と前線に伴う大雨 ○死者10 ○負傷者22 ○全壊17 ○半壊23 台風16号(全国) ○死者14 ○不明3 ○重傷35 ○軽傷232 ○全壊29 ○半壊95 ○床上浸水16799 台風18号(全国) ○死者41 ○不明4 ○重傷205 ○軽傷1096 ○全壊109 ○半壊848 ○床上浸水1598 台風21号と秋雨前線(近畿・中国) ○死者26 ○不明1 ○重傷24 ○軽傷73 ○全壊79 ○半壊273 ○床上浸水5798			

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	
平成17年 -2005	9.26	新高松市誕生(塩江町と合併)	9.5 台風14号			3.29		スマトラ島沖地震(M8.7)(余震)		
	10.11	新観音寺市誕生 (大野原町、豊浜町と合併)	9.5 ～7	○重傷1(高松市) ○半壊2(内海町)		4.25		○死者1000人以上 尼崎市JR福知山線列車脱線事故		
	12月	県下の全市町で火災予防条例改正 住宅用火災警報器の設置義務化	12.12	○床上浸水2(観音寺市1・多度津町1) ○床下浸水77(高松市16・丸亀市10・観音寺市14・土庄町3・庵治町10・直島町12・多度津町12) 坂出市五色台林野火災 ○焼損面積3ha		7.7		○死者107 ○負傷者549 英国地下鉄等同時多発テロ		
平成18年 -2006	1.1	三豊市誕生(高瀬、山本、三野、豊中)	3.24	丸亀市飯山町JA法軍寺SS灯油流出事故(地下タンク腐食孔より約7,000ℓ流出) アジアカム直島工場火災 (ガブリカ製造工場火災) ○負傷者1 ○全焼1棟	6.14		1.4	○死者1209名 ○ニューオリンズ 市街地のほとんどが水没		
	1.1	詫間、仁尾、財田の7町合併) 新高松市誕生(牟礼、庵治、香川、香南、国分寺の5町と合併)	6.7		7.12		1.7	○死者26 ○行方不明3 ○負傷者174 ○全壊284 ○半壊349 パキスタン地震(M7.6) 山形県JR羽越線列車脱線事故 ○死者5 ○負傷者32		
	3.2	まんのう町誕生(琴南、満濃、仲南の3町合併)			7.12		1.8	姫路市民家火災		

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	
平成18年 -2006	3. 21	小豆島町誕生（内海、池田2町合併）		8. 7	坂出市入船町異臭事故 （網日本フアインケム塩素ガス排出）		1. 17		愛媛県菊間太陽石油77火災（10万k1）○死者5	
	3. 21	綾川町誕生（綾上、綾南2町合併）		8. 23	○負傷者47 大雨 ○床下浸水22（高松市）		7. 5		北朝鮮弾道ミサイル発射実験 （7回 すべて日本海へ落下） 東京大停電 （レーン船が送電線に接触）	
	6. 1	住宅用火災報知器の設置義務化（市町火災予防条例の改正 既存住宅への適用は平成23年6月）		8. 25	まんのう町仲南地区小矢谷地区山林火災 ○焼損面積 約1ha		8. 15		○停電139万世帯 船橋市住宅火災 ○死者5	
	7. 15	香川県防災対策基本条例公布・施行 県民防災週間開始		11. 28	豊島北方海域船舶衝突事故 ○重油最大60k1流出 ○土庄町の海苔網に被害		9. 16		台風13号と豪雨 ○死者9 ○行方不明1 ○負傷者448 ○全壊159棟○半壊514棟	
	12. 8	東南海・南海地震防災対策推進地域に県内全域が指定					10. 6		茨城県神栖市日川において発生した船舶事故 ○死者8 ○負傷者16 ○不明者2	
							10. 9		北朝鮮地下核実験実施	
							10. 21		福岡県豊前市住宅火災 ○死者5	
							11. 7		北海道佐呂間町の竜巻 ○死者9 ○負傷者31 ○全壊7棟 ○半壊7棟	
							11. 18		浜松市民家火災 ○死者4 ○全半焼5棟	

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等		
平成18年 -2006								12.14 苫小牧市アパートでCO中毒事故(石油ストーブ) ○死者7		
平成19年 -2007	1.19	香川県消防広域化推進計画検討委員会設置	1.11	まんのう町四条小学校CO中毒 事故 ○負傷者9 さぬき市馬ヶ鼻南東海域で機雷 発見(5月18日志度湾沖で爆破処 理)	1.9	防衛省設置	1.9	北海道北見市ガス漏れ事故(CO中毒) ○死者3 ○負傷11 ○避難約80 1.2 宝塚市が材店火災 ○死者3 ○負傷者5 1.31 埼玉県草加市住宅火災 ○死者4 3.25 能登半島地震(M6.9) ○死者1 ○負傷者267 ○全壊76 ○半壊253 ○最大震度6強(石川県能登) 4.1 天理市住宅火災 ○死者5 6.19 東京渋谷温泉施設爆発事故 ○死者3 ○負傷者8 7.16 新潟県中越沖地震(M6.8) ○死者11 ○負傷者1990 ○全壊1086 ○半壊3790 ○最大震度6強(長岡市他) 12.21 三菱化学(株)鹿島事業所エチレンプラ ント火災 ○死者4		

年	県			下			全			国		
	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等
平成20年 -2008	3.31	香川県消防広域化推進計画策定	8.29	大雨 ○床下浸水56 (高松市2・宇多津町54) 9.21 突風・大雨 ○死者1 (三豊市)	7.2	消防法施行令改正 ○自動火災報知設備・ガス漏れ火災警報設備に関する基準の改正 (平成20年10月1日施行)	3.3	名古屋市中津区ビル火災 ○死者3	3.3	名古屋市中津区ビル火災 ○死者3	3.3	名古屋市中津区ビル火災 ○死者3
				○軽傷2 (丸亀市・多度津町) ○床下浸水44 (高松市43・丸亀市1)			4.28	札幌市特殊浴場火災 ○死者3	4.28	札幌市特殊浴場火災 ○死者3	4.28	札幌市特殊浴場火災 ○死者3
							5.2	大型サイクロン、ミャンマーを直撃	5.2	大型サイクロン、ミャンマーを直撃	5.2	大型サイクロン、ミャンマーを直撃
							5.12	中国・四川大地震	5.12	中国・四川大地震	5.12	中国・四川大地震
							6.2	綾瀬市知的障害者施設火災 ○死者3 ○負傷者1	6.2	綾瀬市知的障害者施設火災 ○死者3 ○負傷者1	6.2	綾瀬市知的障害者施設火災 ○死者3 ○負傷者1
							6.14	岩手・宮城内陸地震(M7.2)	6.14	岩手・宮城内陸地震(M7.2)	6.14	岩手・宮城内陸地震(M7.2)
								○死者17 ○行方不明6 ○負傷者426		○死者17 ○行方不明6 ○負傷者426		○死者17 ○行方不明6 ○負傷者426
								○全壊30 ○半壊146 ○最大震度6強 (岩手県奥州市・宮城県栗原市)		○全壊30 ○半壊146 ○最大震度6強 (岩手県奥州市・宮城県栗原市)		○全壊30 ○半壊146 ○最大震度6強 (岩手県奥州市・宮城県栗原市)
								7.24 岩手県沿岸北部地震(M6.8)		7.24 岩手県沿岸北部地震(M6.8)		7.24 岩手県沿岸北部地震(M6.8)
								○死者1 ○負傷者211		○死者1 ○負傷者211		○死者1 ○負傷者211
								○全壊1 ○一部破損379		○全壊1 ○一部破損379		○全壊1 ○一部破損379
								○最大震度6弱 (青森県八戸市・岩手県野田村)		○最大震度6弱 (青森県八戸市・岩手県野田村)		○最大震度6弱 (青森県八戸市・岩手県野田村)
								7.28 ガリラ豪雨による神戸市都賀川増水 ○死者4 ○負傷者5		7.28 ガリラ豪雨による神戸市都賀川増水 ○死者4 ○負傷者5		7.28 ガリラ豪雨による神戸市都賀川増水 ○死者4 ○負傷者5
								8.5 大雨 ○死者5 (東京都) 地下マンホール作業中、5名が流され死亡		8.5 大雨 ○死者5 (東京都) 地下マンホール作業中、5名が流され死亡		8.5 大雨 ○死者5 (東京都) 地下マンホール作業中、5名が流され死亡

年	県			下			全			国
	消 防 一 般	消 防 一 般	消 防 一 般	消 防 一 般	消 防 一 般	消 防 一 般	消 防 一 般	消 防 一 般	消 防 一 般	
月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
平成20年 -2008										8.28 ～29 8月末豪雨 ○死者2 (愛知県) ○負傷者7 ○全壊6 ○半壊7 ○床上浸水 3106 ○床下浸水 19354 10.1 大阪市浪速区個室ビデオ店火災 ○死者 16 ○負傷者 9
平成21年 -2009	2.1 防災ヘリコプター「オリーブII」就航	8.9 ～10 台風9号 ○床下浸水51 (高松市5・東かがわ市46)	5.1 消防法一部改正 ○傷病者の搬送及び受入れの実 施基準策定及び協議会の設立 (平成21年10月30日施行)	3.19 群馬県渋川市老人ホーム火災 ○死者 10 ○負傷者 1 4.5 北朝鮮飛翔体発射事案 7.5 大阪市此花区パチンコ店火災 ○死者4 ○負傷者19 7.21 中国・九州北部豪雨 ○死者35 (広島県1・山口県 22・福岡県10・佐賀県1・長崎県 1) ○負傷者59 ○全壊52 ○半壊99 ○床上浸水 2137 ○床下浸水 9727 ※山口県防府市の特別養護老人 ホーム「ライブアゲ高砂」に土石流が 流入し、7名死亡。						

年	県			下			全			国		
	月日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等
平成21年									8.9 ～10			台風9号 ○死者25 (長野県1・兵庫県20・岡山県1・徳島県3) ○行方不明2 (兵庫県) ○負傷者23 ○全壊 183 ○半壊 1130 ○床上浸水973 ○床上浸水4629
-2009									8.11			駿河湾を震源とする地震(M6.5) ○死者 1 ○負傷者 319 ○半壊 6 ○一部損壊 8672
									10.1			岐阜県消防防災ヘリコプター墜落事故 ○死者3
									10.7 ～8			インドネシアスマトラ州パダン沖地震災害に対する国際消防救助隊の派遣 台風18号 ○死者5 (宮城県1・埼玉県3・和歌山県1) ○負傷者 137 ○全壊 9 ○半壊 89 ○床上浸水 572 ○床上浸水 3065
									11.17			浜松市マージャン店火災 ○死者4 ○負傷者3
									11.22			杉並区雑居ビル火災 ○死者4 ○負傷者12

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	
平成22年	4.1	「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」策定	2.28	2.28	チリ中部沿岸で発生した地震に伴い、香川県の津波注意報発表	1.12	1.12	ハイチ大地震		
-2010	4.1	(平成22年6月1日施行) 高松市南消防署 移転開署	6.28	6.28	大雨 ○床下浸水9 (坂出市1・宇多津町8)	2.27	2.27	チリ大地震 ⇒2.28～3.1にかけ、全国各地に大津波警報・津波警報・津波注意報発表		
	4.1	(高松市民防災センター併設) (太田出張所、仏生山出張所廃止) (東ハゼ救急ステーション開署)	8.7	8.7	大雨 ○床上浸水3 (善通寺市) ○床下浸水68 (善通寺市)	3.13	3.13	札幌市グループホーム火災 ○死者7 ○負傷者2		
	4.1	丸亀市消防本部 新庁舎運用開始	8.18	8.18	海上保安庁ヘリコプター「あさづる」 多度津町佐柳島付近の海上に墜落 ○死者5	4.14	4.14	中国・青海地震		
			8.30	8.30	小豆島町池田林野火災 ○焼損面積 約8ha	6.11	6.11	梅雨期における大雨 ～7.19		
			9.23	9.23	<防災ヘリ>4機空中消火> <陸上自衛隊ヘリ>1機空中消火> 突風 (竜巻)	7	7月	○死者16 (福島県1・長野県1・岐阜県4・鳥根県2・岡山県1・広島県5・鹿児島県2) ○行方不明5 ○負傷者21 ○全壊42 ○半壊74		
			12.3	12.3	○軽症1 (綾川町) ○半壊1 (綾川町) ○一部損壊9 (綾川町) ○非住家被害1 (綾川町) 強風	7.25	7.25	○床上浸水1786 ○床下浸水5702 記録的猛暑のため、熱中症による救急搬送が急増		
			12.9	12.9	○軽症4 (観音寺市1・多度津町3) ○非住家被害 (綾川町1) 強風	10.2	10.2	埼玉県消防防災ヘリコプター墜落事故 ○死者5 ○負傷者1		
			12.28	12.28	○重症1 (三木町) 強風 ○軽症2 (丸亀市1・坂出市1)	11.23	11.23	○死者3 ○負傷者2 ○全壊10 ○半壊479 ○床上浸水119 ○床下浸水767 北朝鮮、韓国の延坪島を砲撃		

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	
平成23年	6.1	住宅用火災警報器の設置義務化 (市町火災予防条例の既存住宅への適用開始)	2.2 直島町井島西側約100m、水深7mの海底から旧日本軍のものと思われる爆弾を確認。2月4日海上自衛隊により揚収。	5.2	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の公布・施行 ○地方公共団体の義務付け規定の一括改正 ○消防組織法	2.22 ニュージーンランド南島地震				
-2011	5.29 ～30		大雨 ○軽症2 (坂出市1・三木町1)	5.2	○石油コンビナート等災害防止法 一部計画策定の努力義務化	○死者181 救助隊員33名派遣 東日本大震災 (14:46)				
	11.11	第17回全国女性消防団員活性化香川大会開催	○床下浸水61 (高松市1・坂出市1・観音寺市59)	5.2	「東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律」の公布・施行	⇒全国各地に大津波警報・津波警報・津波注意報発表 (～3.13) ○主な津波の観測値 (最大波) 相馬9.3m以上 (15:51)				
	7.19 ～20		台風6号 ○重傷2 (高松市2)	8.30	「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の公布・施行 ○災害対策基本法 市町村防災計画修正後、都道府県知事に報告	石巻市鮎川8.6m以上 (15:26) 宮古8.5m以上 (15:26)				
			○一部損壊1 (小豆島町)			大船渡8.0m以上 (15:18) ○死者18,703 ○行方不明者2,674 ○負傷者6,220 ○全壊126,574 ○半壊272,302 ○一部損壊759,831 ○火災330 (以上、25.9.9現在) ＜緊急消防援助隊＞ 派遣期間3.11～6.6 派遣人員総数30,684人				
			○床下浸水1 (坂出市) ○非住家被害5 (高松市2・坂出市3)							
	8.2		大雨 ○床上浸水1 (観音寺市) ○床下浸水20 (観音寺市)							
	8.9		直島町 (井島) 林野火災 ○焼損面積 約237ha ＜防災ヘリ10機・自衛隊機7機・自衛隊機ヘリ19機 空中消火＞							

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等		
平成23年 -2011			9.2 ~3	台風12号 ○死者3 (丸亀市2・さぬき市1) ○重傷1 (小豆島町) ○軽症2 (高松市2) ○全壊4 (高松市2・綾川町2) ○一部損壊7 (丸亀市2・さぬき市1・三豊市1・土庄町1・綾川町3) ○床上浸水12 (高松市5・丸亀市3・綾川町2・琴平町1・多度津町1) ○床下浸水274 (高松市30・丸亀市112・坂出市2・三木町1・綾川町38・琴平町6・多度津町81・まんのう町4) ○非住家被害24 (高松市4・丸亀市18・坂出市1・さぬき市1) 大雨 ○床上浸水10 (さぬき市5・東かがわ市・小豆島町2) ○床下浸水144 (さぬき市43・東かがわ市80・小豆島町21) ○非住家被害24 (さぬき市1・東かがわ市17・小豆島町6) 台風15号 ○軽症1 (坂出市) ○床上浸水12 (東かがわ市6・小豆島町1・三木町1・まんのう町1) ○床下浸水163 (高松市2・普通寺市3・さぬき市4・東かがわ市146・小豆島町6・三木町2) ○非住家被害69 (高松市2・さぬき市1・東かがわ市65・小豆島町1)			3.11	東日本大震災 (14:46) 派遣部隊総数8,854隊 最大時派遣人員6,835人 最大時派遣部隊数1,870隊 救助者数5,064人 3.11 原子力緊急事態宣言 (19:03、福島第一原子力発電所) 7.19 コスモ石油株式会社千葉製油所 火災・爆発事故 ~20 ○負傷者5 球形タンク17基全焼・全損 7.28 台風6号 ~30 ○死者2 ○行方不明1 8.17 新潟・福島豪雨 ○死者4 ○行方不明者2 9.2 天竜川遊覧船転覆事故 (静岡県浜松市) ~4 ○死者5 ○負傷者5 9.15 台風12号 ~22 ○死者78 ○行方不明者16 9.13 台風15号 ~14 ○死者18 ○行方不明者1		

		県			下			全			国		
年	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	
平成23年 -2011			9.20 ～21	豪雨及び台風15号 ○負傷者1 (坂出市) ○一部損壊1 (小豆島町) ○床上浸水12 (東かがわ市6ほか) ○床下浸水163 (東かがわ市146ほか) ※9.16～17豪雨により床上浸水13、床下浸水164				東ソー株式会社南陽事業所製造施設爆発火災 ○死者1					
平成24年 -2012	4.1	香川県庁の機構改革 防災局から危機管理総局に改組	4.3	暴風 ○死者1 (三豊市) ○重傷5 (高松市3・観音寺市1・小豆島町1) ○軽傷12 (高松市5・丸亀市1・観音寺市2・さぬき市3・宇多津町1) ○一部損壊13 (高松市2・丸亀市1・善通寺市3・さぬき市1・三豊市5・宇多津町1) ○非住家被害22 (高松市4・丸亀市4・善通寺市3・三豊市7・三木町1・綾川町1・多度津町2) 大雨 ○床下浸水3 (三豊市) ○非住家被害1 (三豊市)	6.27		6.27	三井化学株式会社岩国大竹工場製造施設火災 ○死者1 ○負傷者21 近隣住宅999軒に物的被害 5.13 広島県福山市ホテル火災 ○死者7 ○負傷者3 5.24 新潟県南魚沼市欠之上 八箇峠トンネル爆発事故 ○死者4 ○負傷者3 6.28 コスモ石油株式会社千葉製油所アスファルト流出事故					

年	県			全 国		
	消 防 一 般	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等	消 防 一 般	消 防 一 般	災 害 ・ 事 故 等
平成24年 -2012					7.11 ～	梅雨前線による大雨 ○死者30 (熊本県23) ○行方不明2 ○負傷者27 ○全壊363 ○半壊1500 ○床上浸水3, 298 ○床下浸水9, 308 株式会社日本触媒姫路製造所爆 発火災 ○死者1 (消防吏員) ○負傷者36 (消防吏員24)
					9.29	株式会社日本触媒姫路製造所爆 発火災 ○死者1 (消防吏員) ○負傷者36 (消防吏員24)
					11.7	沖縄ターミナル株式会社原油漏 洩事故
					12.2	原油タンクの浮き屋根が沈降 山梨県大月市 中央自動車道 上り笹子トンネル内崩落事故 ○死者9 ○負傷者2
平成25年 -2013					2.8	長崎県グループホーム火災 ○死者4 ○負傷者8
					4.13	淡路島付近を震源とする地震 (M6.3) ○最大震度6弱 (兵庫県淡路 市) ○重傷者3 ○軽傷者17
					8.15	京都府福知山市花火大会火災 ○死者3 ○負傷者56
				3.7	津波警報の改善 (気象庁)	
				8.3	特別警報の運用を開始 (気象庁)	
				12.13	消防団を中核とした地域防災力の 充実強化に関する法律」の公布 (平成25年12月13日施行)	
				1.16	ボーイング787型機 (山口宇部発 羽田行き692便)、高松空港に緊 急着陸	
				4.13	淡路島付近を震源とする地震 震度5弱 東かがわ市 小豆島 町	
				6.20	大雨 ○床下浸水1 (三豊市)	

年	県			下			全			国			
	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	
平成25年 -2013			9.3 ～4	台風17号 ○一部損壊1 (綾川町) ○床上浸水12 (高松市1・三豊市3・多度津町8) 台風18号 ○床上浸水1 (高松市) 台風27号 ○床上浸水 (普通寺市)			10.11	福岡市博多区整形外科火災 ○死者10 ○負傷者5 台風26号 ○死者39 (東京都大島町35) ○行方不明4 ○負傷者130 ○全壊88 ○半壊77 ○床上浸水1,563 ○床上浸水4,092 台風30号フイリピン上陸 ○死者5,500以上 千葉県野田市工場火災 ○死者2 ○負傷者15	10.15 ～16		11.8		11.15
			3.14	伊予灘を震源とする地震 震度4 高松市、さぬき市、土庄町、小豆島町、直島町、丸亀市、観音寺市、三豊市、多度津町 台風11号 ○負傷者8 (高松市)、○全壊1 (高松市) ○全壊1 (高松市)、○半壊2 (東かがわ市) ○床上浸水1 (土庄町) ○床上浸水14 (東かがわ市3・土庄町1・小豆島町9) 台風18号 ○床上浸水2 (高松市)	7.3	消防団を中核とした地域防災力の充実強化の在り方に関する中間答申	1.9	三菱マテリアアル株式会社 四日市工場爆発事故 ○死者5 ○負傷者13 伊予灘を震源とする地震 震度5強 愛媛県西予市 ○負傷者21、○一部損壊57 ○一部損壊57 東京都町田市作業場火災 ○負傷者8 焼損面積：約1300㎡ 兵庫県姫路市沖合船舶爆発火災事故 ○死者1 ○負傷者4	3.14		5.13	5.29	
平成26年 -2014			10.6										

年	県			国		
	月日	消 防 一 般	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等
平成26年 -2014					7.6 ～11	台風8号及び梅雨前線の影響に伴う大雨 ○死者3 ○負傷者66
					8.2 ～10	台風12号及び台風11号に伴う大雨 ○死者6 ○負傷者92
					8.2	広島土砂災害 ○死者74 ○負傷者69
					9.3	新日鐵住金株式会社名古屋製鉄所火災事故 ○負傷者15
					9.27	御嶽山の火山噴火 ○死者57 ○行方不明者6
					10.6	○負傷者69 台風18号
					10.13	○死者6 ○行方不明者1 ○負傷者72 台風19号
					11.22	○死者9 ○負傷者96 長野県北部を震源とする地震 震度6弱 長野県長野市、小谷村、小川村 ○負傷者46 ○全壊50 ○半壊92 ○一部破損1428
					12.5 ～	12月上旬大雪被害 ○死者2 (徳島) ○負傷者20 ○一部損壊1

年	県			下			全			国										
	月日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等								
平成27年	10.31 ～ 11.1	緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練 練香川県開催	7.16 ～ 17	台風11号 ○軽傷者5 (高松市) ○一部損壊1 ○床上浸水2 ○床下浸水3 台風15号 ○重傷者1 (坂出)	8.5 ～ 7	少年消防クラブ交流会 (全国大会) の初開催	3.31	長野県岡谷市における林野火災 ○焼損面積250～300ha 秋田県湯沢市住宅火災 ○死者7 ○全焼2 ○部分焼1 宮城県沖を震源とする地震 最大震度5強 (岩手県：花巻市) ○住家一部破損2	3.31	長野県岡谷市における林野火災	3.31	長野県岡谷市における林野火災								
-2015			9.9 ～ 10	大雨 ○床下浸水1 (三豊市)			5.17	川崎市簡易宿泊所火災 ○死者10 ○負傷者18	5.25	埼玉県北部を震源とする地震 最大震度5弱 (茨城県：土浦市) ○負傷者3	5.29	口永良部島の噴火 ○負傷者1	5.30	小笠原諸島西方沖を震源とする地震 最大震度5強 ○負傷者13	6.30	東海道新幹線の車両火災 ○死者2 ○負傷者26	7.10	岩手県沿岸北部を震源とする地震 最大震度5弱 ○負傷者2	7.13	大分県南部を震源とする地震 最大震度5強 ○負傷者3 ○全壊1 ○一部損壊3

年	県				全 国			
	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等
平成27年 -2015								
								7.26 東京都調布飛行場近隣住宅地における小型航空機の墜落火災 ○死者3 ○負傷者9 ○全焼1 ○半焼1 ○部分焼2
								7.31 北海道苫小牧沖におけるフェリ―船内火災 ○死者1
								8.24 台風第15号 ○死者1 ○負傷者141
								9.8 台風第18号 ○死者8 ○負傷者80
平成28年 -2016								9.12 東京湾を震源とする地震 最大震度5弱 ○負傷者7
								10.8 広島市飲食店火災 ○死者3 ○負傷者3 ○全焼2 ○部分焼3
								1.15 長野県軽井沢町確水バイパスにおける大型観光バス横転事故 ○死者1 5 ○負傷者2 6
								3.17 東広島山陽自動車道八本松トンネル内車両火災 ○死者2 ○負傷者71
								5.16 消防庁公式フェイスブックのページ（女性活躍）の開設
							6.22 大雨 ～23 ○床下浸水60（高松市）	
							9.8 大雨 ○床下浸水64（高松市6、丸亀市8、三豊市6、宇多津町41、多度津町3）	
							1.1 消防団員応援制度スタート	
							3.31 3.31時点での災害対策本部等の災害応急対策指揮・実行、情報伝達施設等の耐震化率85%	

年	県			下			全			国		
	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等
平成28年 -2016			9.20	台風16号 ○人的被害1 (高松市) ○床上浸水2(高松市1、多度津町1) ○床上浸水60 (高松市5、丸亀市3、普通寺市1、直島町2、多度津町49)			4.14	熊本県熊本地方を震源とする地震 最大震度7 (熊本県:益城町) ○死者255 ○負傷者2,792 ○全壊8,675 ○半壊34,620 ○一部損壊162,346 ○床上浸水114○床上浸水156 ○非住家被害11,570○火災15 ○床上浸水114○床上浸水156 ○非住家被害11,570○火災15			5.27	東京国際空港 (羽田空港) における大韓航空機火災 ○負傷者12
			10.21	鳥取県中部を震源とする地震 震度4 (高松市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島、綾川町)			6.20	梅雨期における大雨 ○死者7○負傷者12 ○全壊37○半壊165 ○一部破損189 ○床上浸水520○床上浸水2,015 ○非住家被害414			8.30	台風10号 ○死者26○行方不明3○負傷者14 ○全壊518○半壊2,281 ○一部損壊1174 ○床上浸水279○床上浸水1752 ○非住家被害2,517
							9.6	台風13号 ○死者1○負傷者2 ○全壊15○半壊42 ○一部損壊41○床上浸水112 ○床上浸水345○非住家被害56			12.22	新潟県糸魚川市大規模火災 ○負傷者17○全焼120

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等	月日	消 防 一 般	月日	災 害 ・ 事 故 等		
平成29年 -2017	6~2	学生消防団員交流会及び 消防団加入促進PR事業実施	9.17	台風18号 ○死者1(三豊市) ○負傷者3(高松市1、さぬき市 2) ○全壊1(三豊市) ○床上浸水99(高松市7、丸亀市 6、土庄町1、琴平町1、多度津町 84) ○床上浸水326(高松市17、丸亀 市61、善通寺市7、観音寺市5、 三豊市6、土庄町6、三木町1 0、宇多津町1、琴平町3、多度 津町209、まんのう町1)	5.25	全国版救急受診アプリ(愛称『Q 助』)の提供開始	3.5	長野県消防防災ヘリコプター墜 落事故 ○死者9 3.27 栃木県那須町での雪崩 ○死者8 ○負傷者40 7.5 梅雨前線に伴う大雨及び台風第3 号 ○死者42 ○負傷者39 ○全壊338 ○半壊1,101 ○一部損壊89 ○床上浸水223 ○床下浸水 2,113 ○非住家被害1,416 8.25 徳島自動車道バス追突事故 ○死者2 ○負傷者14 11.8 群馬県多野郡上村村におけるヘ リコプター墜落火災 ○死者4	3.5	長野県消防防災ヘリコプター墜 落事故 ○死者9 3.27 栃木県那須町での雪崩 ○死者8 ○負傷者40 7.5 梅雨前線に伴う大雨及び台風第3 号 ○死者42 ○負傷者39 ○全壊338 ○半壊1,101 ○一部損壊89 ○床上浸水223 ○床下浸水 2,113 ○非住家被害1,416 8.25 徳島自動車道バス追突事故 ○死者2 ○負傷者14 11.8 群馬県多野郡上村村におけるヘ リコプター墜落火災 ○死者4
平成30年 -2018	4.1	ぼうさい@うごん県情報発信事業と してTwitterの開始	7.5	平成30年台風第24号からの梅雨前線 による大雨 ○負傷者1(高松市) ○全壊1(直島町) ○半壊2(丸亀市1、坂出市1) ○床上浸水1(善通寺市) ○床上浸水9(丸亀市2、善通寺市 1、三豊市1、土庄町3、琴平町2) 平成30年台風第24号による大雨 ○負傷者1(高松市) ○床上浸水5(高松市) ○床上浸水61(高松市16、丸亀市 1、善通寺市4、三豊市7、土庄町 1、多度津町32)	3.7	自治体消防制度70周年記念式典の 開催	2.5	佐賀県神埼市自衛隊ヘリコプ ター墜落事故 ○死者2 ○負傷者1 6.18 大阪北部地震 最大震度6弱(大阪：大阪市北区 高槻市、枚方市、茨木市、箕面 市) ○全壊21 ○半壊483 ○一部損壊61,266 ○非住家被害816 6.28 7月豪雨及び台風12号 ○負傷者484 ○全壊6,783 ○半壊11,346 ○一部損壊4,362 ○床上浸水6,982 ○床下浸水21,637 ○非住家被害6,820		

年	県			下			全			国
	月日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等		
平成30年 -2018							8.10	群馬県防災ヘリコプター墜落事故 ○死者9		
							9.6	北海道胆振東部地震 最大震度7(北海道：厚真町) ○死者43○負傷者782 ○全壊469○半壊1,660 ○一部損壊13,849 ○非住家被害2,490		
							6.18	山形県沖を震源とする地震 最大震度6強(新潟県：村上市) ○重症9○軽傷34 ○半壊28○一部破損1,580 ○非住家被害6		
平成31年/ 令和元年 -2019				令和元年台風第10号による大雨 ○負傷者2 (さぬき市1、まんのう町1) ○一部破損(小豆島町1)			7.18	京都府京都市伏見区で発生した 爆発火災 ○死者36○重症8 ○中等症7○軽症20 令和元年台風第10号 ○死者2○重傷2 ○軽傷49 ○全壊1○一部破損59 ○床上浸水2○床下浸水8 ○非住家被害9		
								8月27日からの大雨 ○死者4○重傷3 ○軽傷1 ○全壊95○半壊890 ○一部破損55 ○床上浸水918○床下浸水4,760 ○非住家被害291		

年	県			下			全			国		
	月日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等	月 日	消 防 一 般	月 日	災 害 ・ 事 故 等
平成31年/ 令和元年 -2019												令和元年房総半島台風 ○死者9 (うち災害関連8) ○重傷20○軽傷140 ○全壊457○半壊4,806 ○一部破損87,833 ○床上浸水125○床下浸水151 ○非住家被害1,448 令和元年台風第17号 ○死者2 ○重傷5○軽傷64 ○半壊10○一部破損859 ○床上浸水97○床下浸水147 ○非住家被害29 令和元年東日本台風及び前線による大雨 ○死者118 (うち災害関連21) ○行方不明3 ○重傷48○軽傷340 ○全壊3,263○半壊30,004 ○一部破損42,491 ○床上浸水7,710○床下浸水22,231 ○非住家被害16,401 沖縄県那覇市首里城跡火災 ○全焼 (正殿、北殿、南殿・番所、書院・鎖之間、黄金御殿他 (奥書院含む) 及び二階御殿) ○半焼 (奉神門)
令和2年 -2020			11.19	坂出市沖で発生した旅客船座礁事故による被害 ○中等症1 ○軽傷2					1.30		1.30	北海道古冠村における雪崩による被害 ○死者1 5.20 奈良県五條市の住宅火災 ○死者5

年	県			全			国
	消 防 一 般	消 防 一 般	消 防 一 般	消 防 一 般	消 防 一 般	消 防 一 般	
令和2年 -2020	月日	月日	月日	月日	月日	月日	災害・事故等
						7.4	令和2年7月豪雨 ○死者84 ○行方不明2 ○重傷25○軽傷55 ○全壊1,620○半壊4,509 ○一部破損3,594 ○床上浸水1,652 ○床下浸水5,173 福島県群山市で発生した爆発事故 ○死者1
						9.3	台風10号 ○死者3 ○行方不明者3 ○重傷20○軽傷90 ○全壊7○半壊40 ○一部破損1,637○床上浸水31 ○床下浸水236
						12.25	年末年始の大雪等による被害 ○死者5 ○重傷11○軽傷32 ○一部破損3

第8-1表

過去における主な事故一覧

発生年月日	事故名	事故種別	発生市町	死者	負傷者	事故概要
S29. 8. 9	煙火工場爆発事故	火薬	坂出市	2	4	平尾火工品製作所
S30. 3. 24	煙火工場爆発事故	火薬	坂出市	1	2	平尾火工品製作所
S30. 5. 11	紫雲丸事件			166	58	行方不明2名 濃霧により連絡船（紫雲丸）女木島沖で衝突沈没 災害救助法適用
S41. 3. 30	火薬による飛び石事故	火薬	宇多津町	1		土木工事現場
S42. 7. 7	日本トランプ工業(株) 坂出工場爆発事故	危険物	坂出市		8	ABN製造装置爆発火災
S44. 7. 29	採石場での岩石崩落事故	火薬	庵治町	1	2	
S44. 8. 8	煙火工場爆発事故	火薬	高松市	1		小泉煙火
S47. 2. 5	川崎重工業(株)坂出造船 事業部修繕ドック内火災		坂出市	1		修繕ドック内のスラッジ火災
S49. 2. 11	日本トランプ工業(株) 坂出工場爆発事故	危険物	坂出市		1	ABN-R製造装置において洗浄用メノールが裸電球に かかり、電球が割れ引火爆発炎上
S49. 12. 2	川崎重工業(株)坂出造船 事業部接岸中の船舶爆発		坂出市	1	8	修理中の船舶のボイラー逆火現象による爆発
S49. 12. 18	三菱石油(株)水島製油所 重油流出事故	危険物				海上流出重油 7,500~9,500kl 沿岸に漂着し、水産被害等甚大 香川県水島重油流出事故対策本部設置
S50. 5. 21	火薬による飛び石事故	火薬	丸亀市	1		丸亀市広島の採石場
S51. 8. 1	コトデン電車正面衝突事故	救急	高松市		230	高松市松島町でコトデン電車の正面衝突
S51. 9. 21	川崎重工業(株)坂出造船 事業部接岸中の船舶爆発		坂出市	1		修理中の船舶内における塗料のペーパーの爆発
S53. 4. 11	採石場での火薬爆発事故	火薬	長尾町	1	2	
S53. 9. 18	屋外タンク爆発事故	危険物	坂出市	1		丸善流通サービス(株)坂出油槽所の屋外タンクの補修中、溶 接の火花がガス蒸気に引火し、タンクが爆発、タンク上 部で溶接作業を行っていた作業員が死亡
S55. 2. 13	日本トランプ工業(株) 坂出工場爆発事故	危険物	坂出市		3	5AAT製造装置の試運転中、配管の詰まりによる爆 発
S57. 2. 18	濃硫酸流出事故	(危険物)	直島町			(株)辰巳商会の濃硫酸タンクのパルプの亀裂による 濃硫酸の流出
S60. 1. 16	煙火工場爆発事故	火薬	坂出市	1		平尾花火店
S60. 10. 25	四国化成工業(株)爆発事故	危険物	丸亀市			C S 2 精製施設の硫黄回収装置換気運転中の爆発火 災
H2. 3. 14	L P ガス漏洩爆発火災	L P ガス	多度津町	1	1	一般住宅における消費器具の誤操作による漏洩爆発
H4. 5. 8	L P ガス漏洩爆発火災	L P ガス	高松市	1	1	一般住宅における消費器具の誤操作による漏洩爆発
H4. 6. 6	東京製鉄(株)高松工場 電気炉爆発事故	危険物	高松市		6	電気炉の水蒸気爆発
H4. 8. 29	アゾリチウム(株) 直島工場火災	危険物	直島町		3	アゾリチウム生成反応槽の破裂板取替え作業中の着火
H5. 5. 8	火薬による飛び石事故	火薬	丸亀市		1	丸亀市広島の採石場
H5. 10. 28	火薬による飛び石事故	火薬	丸亀市			丸亀市広島の採石場で火薬類消費による飛び石が発 生し、約300m離れた小学校の体育館や神社の屋根 や床を貫通した。
H5. 11. 1	火薬による飛び石事故	火薬	内海町		1	内海町の採石場
H6. 1. 28	コスモ石油(株) 坂出製油所爆発事故	高圧ガス 危険物	坂出市		2	軽質重油脱硫装置の水素圧縮機の爆発
H6. 8. 6	たどつまつり煙火事故	火薬	多度津町		1	打上花火の低空開発により、打揚従事者が負傷
H8. 11. 28	大倉工業(株) 詫間工場爆発事故		詫間町	3	9	木材チップを固めて板にするパーティクルボードの 製造中爆発し、工場1棟焼失した。 (死亡3名 重傷3名 中等傷3名 軽傷3名)
H9. 8. 21	コスモ石油(株)坂出製油 所特定タンク火災	危険物	坂出市			タンク開放点検作業中の火災
H9. 10. 22	多度津町沖油流出事故	油流出	多度津町 詫間町			多度津沖から詫間沖にかけての油流出事故 (船舶からの排出、処理終了24日) 香川県油流出事故対策本部設置
H10. 2. 20	四国電力鉄塔倒壊事故		坂出市			四国電力坂出力線14号鉄塔の倒壊 停電 17,000戸(丸亀市、坂出市、宇多津町) 四国ガス供給停止 8,973戸 (高松、坂出、丸亀、普通寺、宇多津、多度津、琴平) 番の州企業6社操業停止、縮小等、 瀬戸中央自動車道一時通行止め

発生日月	事故名	事故種別	発生市町	死者	負傷者	事故概要
H10. 5. 11	J A協栄灯油流出事故	危険物	満濃町			ミニローへの灯油注油中のオーバーフローによる漏洩事故
H10. 5. 26	今治造船(株)接岸船舶の爆発事故		丸亀市		6	今治造船(株)丸亀事業本部において、建造中の船舶内で作業員がタバコに火をつけたところ、爆発した。
H10. 8. 19	ルマリンタコロー横転事故		高松市		2	ルマリンタコローの交通事故によるルマリンの漏洩事故
H10. 8. 21	四国ドッグ(株)塗料倉庫火災	危険物	高松市			四国ドッグ(株)の塗料倉庫において、深夜、火災が発生し塗料(18L缶)などが全焼した。
H10. 8. 22	塩江温泉まつり煙火事故	火薬	塩江町		6	花火大会において、不発玉が保安距離外の観客のいる場所に落下開発し、観客6名が負傷した。
H11. 1. 20	四国化成工業(株)爆発事故	危険物	丸亀市		6	不溶性硫黄製造装置の沈降槽清掃中の爆発
H11. 3. 18	(有)尾崎石材火薬爆燃事故	火薬	坂出市		1	小割発破の準備中、ターボライターの火が黒色火薬に着火し、作業員が火傷を負った
H11. 12. 9	土砂運搬船の沈没による燃料油流出事故	油流出	直島町 柏島沖			貨物船と土砂運搬船との衝突による土砂運搬船の沈没、燃料油の流出(H12. 6. 20 沈没船引揚完了)
H12. 6. 7	コトデンバスの交通事故	救急	高松市		24	コトデンバスとクレーン車が交差点で衝突事故
H12. 11. 2	金属リチウム爆発事故	危険物	直島町			ドラム缶に入れた金属リチウムを海辺の空き地に野積みしていたところ、ドラム缶が腐食し、雨水と反応して爆発した。
H13. 5. 15	四国電力(株)坂出發電所アセチレンガス火災事故	高圧ガス	坂出市		1	電気集塵機の点検修理中にアセチレン・酸素ガスによる火災が発生し、作業員が火傷した。
H13. 9. 29	(株)サウス牟礼工場アセチレンガス爆発火災事故	高圧ガス	牟礼町	1	1	鉄筋編成機の据え付け工事中、漏洩していたアセチレンガスに溶接火花が引火爆発し、作業員が打撲出血死した。
H13. 10. 2	(有)サウト採石場における飛石事故	火薬	三木町			発破時の飛石により隣接する高速道路料金所の建物等が損傷した。
H14. 4. 6	高松帝酸(株)移動車輛火災事故	高圧ガス	高松市		1	車輛に積載した液化酸素容器からガスが漏洩し、タバコの火から、車輛が炎上し、焼損した。
H14. 5. 13	漁船積載の酸素ガス容器破裂事故	高圧ガス	高松市			係留中の漁船に積載した酸素ガス容器が劣化し、突然破裂した。
H15. 4. 23	メガマート豊中店火災		豊中町			キャンプ用品売場付近から出火し、6,256㎡を全焼した。
H15. 5. 19	高松市西宝町バス・クレーン衝突事故	救急	高松市		23	工事現場から県道に出ようとしたクレーン車が路線バスに接触し、バスが歩道上の電柱に接触した。
H16. 5. 18	車の転落事故	救急	高松市	1	4	身障者同乗のワゴン車(キャラバン)が3m下の民家敷地へ転落したもの。
H16. 5. 20	(有)木内石材火薬爆燃事故	火薬	庵治町		2	発破孔に詰まった親ダイを締め棒で強く押ししたところ、爆発し作業員2名が火傷を負った。
H16. 6. 5	榎藤田商店給油所ガソリン漏出事故	危険物	丸亀市			給油所地下タンクよりガソリン約7,800リットルが地下に漏出。
H16. 8. 26	今治造船(株)建造中船舶の爆発事故		丸亀市		2	新造船の後部船底部分の塗装工事中、気化した塗料に排気ファンの火花が引火、爆発。
H16. 10. 12	常石造船(株)建造中船舶の爆発事故		多度津町		4	新造船の後部船底部分の塗装工事中、気化した塗料に排気ファンの火花が引火、爆発。
H18. 3. 24	JA法軍寺給油所灯油漏出事故	危険物	丸亀市			給油所地下タンクより灯油約7,000リットルが地下に漏出。
H18. 6. 7	アズリウム(株)直島工場火災	危険物	直島町		1	アズリウム製造工場で金属リチウム等による火災
H18. 8. 7	(株)日本ファイネム異臭事故		坂出市		47	塩素ガスの排出事務
H18. 11. 28	豊島北方海域船舶衝突事故		土庄町			重油が最大60kl流出し、ノリ網等に被害
H19. 1. 11	まんのう町四条小学校CO中毒事故	LPガス	まんのう町		9	食器乾燥機排気塔からの一酸化炭素の教室への流入
H19. 4. 23	さぬき市馬ヶ鼻南東海域で米軍航空機機雷発見		さぬき市			5月18日11時志度湾沖で爆破処理
H19. 6. 21	高松市古井戸硫化水素事故		高松市		2	濁水対策で古井戸の清掃作業中の作業員2人が硫化水素中毒により死亡
H19. 8. 19	JR快速電車と保冷車衝突事故	救急	高松市		1	高松市国分寺町JR予讃線踏切で立往生していた保冷車に快速電車が衝突
H19. 8. 29	三豊干拓地海水流入		観音寺市			三豊干拓地に海水が逆流し、約78haが冠水
H19. 10. 20	琴弾八幡宮秋季大祭花火流失	火薬	観音寺市			秋季大祭打上げ用花火700発のうち400発が突風による波にさらわれて流失
H20. 1. 28	女木島沖で旧日本軍の砲弾発見		高松市			底引き網漁の魚網に旧日本軍の砲弾
H20. 4. 29	高松市で硫化水素自殺		高松市		1	高松市藤塚町のマンションで学生が硫化水素自殺周辺住民約40人が一時避難
H20. 6. 10	常石造船(株)建造中船舶の爆発事故		多度津町		1	建造中船舶のダクト内に溜まっていたガスにバーナーが引火、爆発
H20. 8. 16	まんのう町国営まんのう公園煙火事故	火薬	まんのう町		1	花火大会で、打上げた煙火玉が、上空で開発せず黒玉となって観客席の観客に当たった

発生年月日	事故名	事故種別	発生市町	死者	負傷者	事故概要
H21. 8. 22	まるがめ姿姿羅まつり煙火事故	火薬	丸亀市		1	花火大会で打上げた煙火玉の部品が観客席に落下し、観客が打撲傷を負った
H22. 8. 18	海上保安庁ヘリコプター墜落事故		多度津町	5		海上保安庁ヘリコプター「あきづる」が多度津町佐柳島付近の海上に墜落
H23. 9. 22	ヘリコプター不時着・炎上事故		東かがわ市			台風被害取材中のヘリコプターが白煙を出しながら急降下、グラウンドに着陸後に炎上
H25. 5. 22	四国化成工業(株)丸亀工場火災事故	危険物	丸亀市		4	爆発放散水槽から二酸化炭素を含む混合残渣物が漏れ、付近の高温配管に接触し引火した
H25. 7. 10	川崎重工業(株)窒素ガス漏えい事故	高圧ガス	坂出市	1		気密試験に使用した窒素ガスが漏れ、ガスが充填した塔屋に作業員が入り窒息
H29. 7. 26	平尾花火店火薬事故	火薬	坂出市		2	工場敷地内で爆発火災が発生し従業員2名が負傷